

令和3年度
第2回運営委員会
みどりの会第2回役員会

次 第

≪第2回運営委員会≫

1. 運営委員長挨拶（小田中委員長）
2. 園長挨拶（高木園長）
3. 議事
 - (1) 令和3年度事業報告及び年度末評価
 - ① 園経営及び園運営について
（事業報告、園務分掌評価、保護者アンケート結果）
 - ② 保育について
（保育評価、行事評価）
 - ③ 安全管理について
（苦情処理、ヒヤリハット・事故報告）
 - (2) 令和4年度事業計画（案）

≪みどりの会第2回役員会≫

1. みどりの会会長挨拶（三上会長）
2. 議事
 - (1) 令和3年度事業報告
 - (2) 令和3年度会計監査報告
 - (3) 令和4年度事業計画（案）
 - (4) 令和4年度予算（案）
 - (5) 令和4年度役員（案）
 - (6) その他
3. 園長挨拶（高木園長）

開催日 令和4年3月29日 火曜日
時 間 午後6時30分
場 所 みどりの保育園職員室

出席者名簿

区分	役職	氏名	クラス	園児名
みどりの会	会長	三上和人	そら (5歳児)	
			かぜ (4歳児)	
			おひさま2 (3歳児)	
	副会長	佐々木 哲 弥	かぜ (4歳児)	
			あおば (1歳児)	
	副会長	橋 浦 一 未	おひさま1 (3歳児)	
	副会長	前屋舗 哲 也	おひさま2 (3歳児)	
会 計	佐 藤 啓 治	かぜ (4歳児)		
監 査	田 毛 祐 成	おひさま2 (3歳児)		
	監 査	小野寺 佑 太	にじ1 (2歳児)	
運営委員会	委員長	小田中 清 子	ひよこ保育園	
みどりの保育園	園 長	高 木 宏 子		
	主任保育士	小 野 洋 子		
	副主任保育士	阿 部 敬 子	みどりの会会計兼任	
	事務長	高 木 崇		
	事務主任	前屋敷 由紀子		

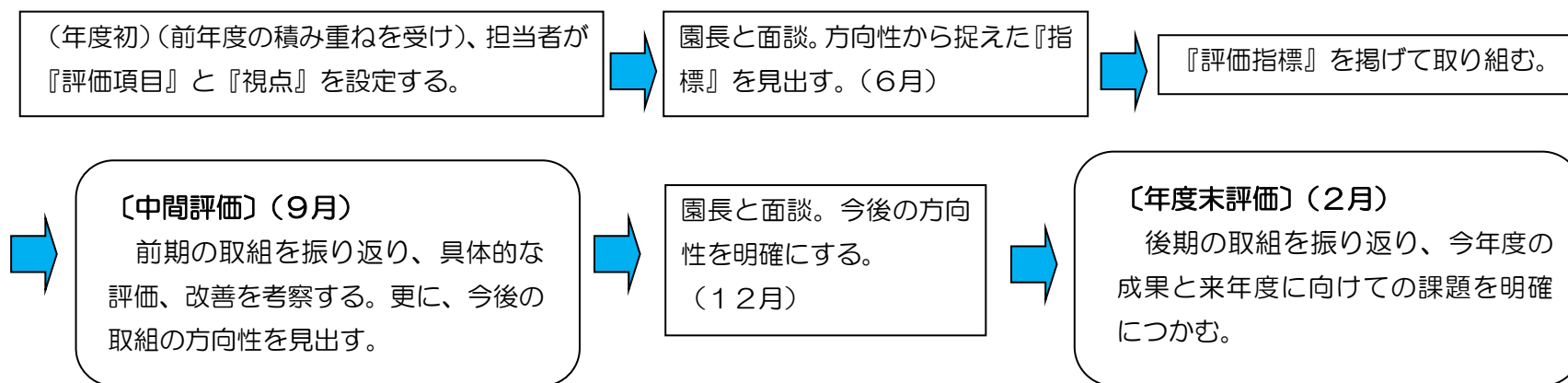
令和3年度 みどりの保育園 園務分掌年度末評価資料

R4.2.28

【目的】 各自の園務分掌評価を行うことにより、園としての組織・継続的な改善を図ると共に、保育の質の向上を図る。

【方法】 ○自ら評価指標を掲げ、意識化する。(自分が取り組んだことの振り返りの尺度を明確にする。)

○中間評価、年度末に取組の評価をする。(園を運営している組織の一員として自ら成果と課題を掴む。)



【年度末運営会議】(3月上旬) ○総務が協議の柱にそって進行。

○協議内容を考慮し、3月対応か次年度対応、長期対応として考えていくかを分類。

○解決策を提案する担当者を指定。その後の職員会議で提案。

園務

＜評価項目＞・視点	3年度の方向性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<p>＜総務全般＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ ・要覧作成管理 ・花巻市との調整 ・消防関係 ・父母の会事務局 ・地域連携 	<p>＜ホームページ・要覧＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の特色を出せるよう、また父母や地域と深くつながるよう更新を行う。 <p>＜市・消防・父母会・地域連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊密な関係を築けるよう、情報発信を行う。 ・非常時に適切に行動できるよう消防計画、避難協力を行う。 	<p>＜ホームページ・要覧＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとの記事更新、日頃の保育の様子の発信。 <p>＜市・消防・父母会・地域連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の納期厳守 ・各種事業は関係機関へ迅速に発信 	<p>＜ホームページ・要覧＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事は適宜更新を行っている。後期にかけ更新頻度を上げていきたいので、保育士等と連携し更新内容を精査していきたい。 <p>＜市・消防・父母会・地域連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の納期は、返却（修正指摘）などを考慮し期日より早く提出するようにできている。 ・各種事業については要領が出来次第取り組んでいく。 ・父母会・地域連携について、新型コロナの影響により満足には行なえていないが、今後の状況も踏まえ連携強化を図っていきたい。 <p>＜ホームページ・要覧＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事は適宜更新を行っているが中間評価での目標としていた更新頻度を上げることはできなかった。日常の保育風景やお楽しみ会など、各保育者が撮影した写真収集や記事内容の精査を今後も続けていきたい。 <p>＜市・消防・父母会・地域連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市との調整については問題なく行えている。次年度に新たな請求システムの活用が始まるので、さらに連携を密にしていきたい。 ・父母会・地域連携については新型コロナの影響により満足には行なえていない。ウィズコロナにおける連携強化の模索を引き続き行っていきたい。
<p>＜施設管理＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設備品管理 ・消防・電気・セキュリティ機器等管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・月次安全点検表を作成し、指摘箇所の確認・修繕作業を行う。 ・保育士からの指摘について、即座に対応する。 ・関係業者と連携を取り設備点検計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応可能なものについては即座に修復作業等の対応を行う。 ・対応が難しいものについては、各業者と緊密な関係を築き、即時対応していただけるよう調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人対応可能なものについては、出来るだけ早く対応するよう心がけた。 ・各業者との連絡については、去年の経験を生かし対応できている。また、異常発見時には迅速に対応しているが完了できていない部分もあるので適宜対処していく。 ・4月の1年点検において、各関係業者に内検いただき、扉、網戸、指はさみ防止器具の補修は完了。園庭法面の押上も9月に実施。土流れ防止策は検討中。ウッドデッキの塗り直しについても後期に計画。 ・各業者との連絡について、報告や修繕日程の調整は迅速に行っているが、早期復旧に至らないものもあり担当業者の変更も考えている。今後も園長・本社とも協議しながら生活しやすい施設維持を続けていく。 ・個人での補修は進めているが手を回せていない箇所も多々あるので、補修作業を継続して進めていく。
<p>＜園内調整＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支払期日を厳守し、正確に賃金計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月6月までに出勤簿の確認をし、 	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤簿を確認してから給与明細の作成と支払入力が入りいつも振込

<ul style="list-style-type: none"> ・賃金計算 ・通帳／小口現金管理 <p><労務管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇管理 ・法定福利費 	<p>をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預金や小口現金に動きがあった時はその日のうちに経理ソフトへ入力する。 ・有給休暇を適切に管理する。 ・社会保険の手当金申請をスムーズに行う。 	<p>7日までには給与明細を作成し、支払い入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口現金は当日中、預金も毎日ネットバンキングで動きを確認する。 ・有給休暇の申請漏れがないか毎月確認する。 ・期日に間に合うように社会保険の申請を行う。 	<p>予約締め切り日のギリギリになってしまうことが多かったので改善していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口現金は当日中に入力できたが、預金の入力は一週間単位となってしまう。 ・出勤簿を確認した際、有給申請が出ていない人へ個別に申請書を渡し、書いてもらうことができた。 ・社会保険の手当金の申請は、事前に書く方を問合せし、速やかに行うことができた。 <p>・給与明細と支払入力は、毎月いつまでにと期日を決めて処理することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口現金は当日中に、預金の入力はまとめてになってしまったので改善する。 ・有給申請は遅くとも月内中に提出するように声掛けすることや、管理簿を再度チェックすることが後手後手になってしまった。 ・手当金の申請は速やかに行うことができた。
---	---	--	---

教務

<評価項目>・視点	3年度の方角性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<p><全体的な保育管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な保育計画の作成 ・保育の管理 ・評価改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の目標、目指す子ども像に向けた全体的な保育計画の立案、評価、改善を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の保育評価から全体的な保育計画を見直し、再構成したものを4月に配布する。 ・中間保育評価原案を8月に作成、9月配布し、10月にまとめ提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の保育評価を見直し、今年度の子どもの姿から全体的な保育計画、年間指導計画を立案、提示した。全担任と期案打ち合わせを行い、今の子どもたちの姿から必要な経験、そのための有効な指導を話し合い、それぞれが意識して短期指導計画に生かせるようにした。今後は、チームで保育の振り返りをし、子どもたちの育ちをつかんで次への保育につなげていけるよう、保育評価表を早めに準備していきたい。 ・中間保育評価を期日通り作成しまとめることができた。振り返り評価を行ったことで、保育者一人ひとりが幼児理解を深め、チームで楽しい雰囲気のもと保育が展開されていることが分かった。 ・起案打合せを計画的に進めることができなかった。月予定に打合せ週間を作り学年ミーティングの時間を使い計画的に進めていけるようにする。

<p><行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事計画立案 ・評価改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画や昨年度の行事評価から行事を検討し、計画を立案し提案していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿や育ちを踏まえて目指す方向性を考える。取り組みの内容や具体的手立てを検討し、一か月前にスケジュールリングし、提案する。全職員に進捗状況が分かるよう明記して知らせる。全体把握し、管理を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールリングは早めに行なったが、コロナ禍の状況変化対応が遅れてしまい、職員全員に計画案を提案し共通理解するのに時間がかかってしまうことがあった。教務として状況把握をし、園長先生方と相談しながら行動していけるようにする。 ・行事計画を一か月前に提案してきたが準備が間に合わなかった。次年度からは二か月前に提案するアドバイスをいただき、進捗状況を把握して進めていけるよう努めていく。 ・行事計画を職員室の先生方に検討していただき、一つの行事を色々な角度からの見方があることが分かった。今年度の評価を次年度に活かしていけるようにしたい。
<p><夕方シフト管理></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方シフト担当者（5名）副主任と保育や環境を考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方シフト担当者と月1回ミーティングの時間をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制が変わる中で月1回のミーティングをもつことが難しかった。話し合いを短時間でも日常的に作り出していくことを意識していきたい。ミーティングを月予定に組み込んでいく。 ・終礼後に副主任と夕方シフトの打ち合わせを行い、子ども的人数によって職員配置を確認するようにし、各担当者に伝えた。 ・夕方担当者と打ち合わせをする時間をもつことができなかった。日常的に話し合いの時間を作り出していくためには曜日と時間を決め、声を掛け、話し合う場を作っていく。
<p><乳児保育 R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の心身の状態に即した保育 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かな雰囲気大切に、子どもが興味をもった好きな遊びを安心して実現できる環境をミーティングで作る上げる ・受容的、応答的に触れ合える安心できるかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・0、1歳児ミーティングでの情報交換を通して、一人一人の発達に添った環境をチームで考え、工夫していく。 ・日々の振り返りから保育者同士の情報をつなぎ、多角的に捉えていくことで、一人一人の内面理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの他に時間を見つけて情報共有を密に行った。改善点ややってみよう和前向きな方向で話し合いが進み、保育者同士、日々フランクに話し合える関係から、環境の工夫や子どもの内面理解を深めることができた。 ・環境の工夫として、ミーティングの時間を利用してチームで実際に作る時間を設け、一緒に作りながら語り合ったことで更に育ちが見え、内面理解につながった。今後も一緒に作る時間を取り入れながら発達に添った環境をチームで考えていきたい。
<p><乳児保育副 R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育評価まとめの補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーと共に子どもが興味をもった好きな遊びが安心して出来る環境をミーティング等で話し合いながら、チームで作りに上げていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーションの評価を毎日の保育評価に生かしていけるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや日々の空いた時間のチームでの話などで子どもの姿や今何が必要か等、細かく話しながら保育が出来ている。 ・これからもドキュメンテーションを活用しながら、保育評価に生かしていけるようにリーダーと共に頑張っていきたい。 ・写真をみながら、子供の姿についてのしく話をしながらドキュメンテーションの作成をすることで、様々な角度から子供の様子を知ることができた。次こうしてみたい！という思いはあるのだがその準備がなかなか難しかったので、時間をうまく使って子供たちが安心して遊びだせる環境を更に工夫していきたい。

<p><幼児教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の成長と集団としての活動の充実を図る ・学年ミーティングの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の安定に努め、職員間で連携しながら個々の成長を支えていくと共に、集団としての活動の充実、育ちを図っていく。 ・チームでの子どもの理解を深める有効な話し合いと情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りやミーティング等で、幼児の理解を深める。計画・援助の在り方と幼児の変容とを照らし合わせながら、個の成長を支えていく。 ・各担任とミーティングの時間や内容など事前に打ち合わせる。 ・学年ミーティングで話題となったことを他の学年にも伝え合い、保育者間で情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の学年ミーティングでは園内研究と絡めて写真を利用して見た。視覚から入る幼児の姿から内面を読み取り、どんな状況が有効だったのか振り返ることができ、明日の保育につながった。 ・日中の保育と夕方の合同保育での子どもたちの姿を伝え合うことができている。一日を通して援助の継続が出来、一人一人の理解がより深まった。 ・日々の振り返りやミーティングを通して内面理解をさらに深め、一人一人の成長を更に深めていきたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを通して一人一人の姿を丁寧に読み取り、援助の方向性を確認し合いながら保育できた。みんなが発言しやすい状況作りが大切だと思った。また、ドキュメンテーションや支援会議、行事に向けた打ち合わせや資料作りに充てることも有効だった。 ・来年度は保育を語り合う時間の確保、年間を通して見通しのもてる保育、行事の運営ができるようにしていきたい。
<p><個別支援指導R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援シート作成提案 ・支援会議企画 ・研修会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の実態を探ったり家庭からの情報収集をしたりしながらミーティングでの支援シート作成を進められるようにする。 ・支援会議をすることで全職員が共通理解をしてかかわられるようにしていく。 ・研修会で学んだことを伝講し、実践に生かしていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議の年間計画立案、進行 ・支援シート作成提案 ・研修会で学んだことを発信 ・副Rとの打ち合わせ、仕事の分担 ・個別面談を行いながらシートの作成を進め、適切な支援方法を保護者とも共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成し、計画的に支援会議を進めることができてよかった。 ・会議ではグループ討議をすることで活発に意見が出され、一人一人の園や家庭での姿を把握し、共通理解しながら多角的に捉えることができた。 ・研修会の参考資料を活用し、支援シートを作成することができた。 ・個別面談は、保護者の方々の受け止めと関わりを丁寧にしながら進めることができた。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価をしていくことで、個々の成長が見られ、次への手立てを考え、方向性が見え良かった。 ・会議時間を50分から1時間にすることで、さらに話し合いが充実されていくと感じた。
<p><個別支援指導副R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ち等を職員間で共有し、みんなで考えていけるような環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーと相談しながら支援会議の準備や進行をする ・ミーティングで出た話題を支援会議につなげていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一週間毎のミーティングでその時の子どもの姿や悩んでいること等、発信したり聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングでは自分が困っていることや悩んでいることを積極的に発信するようにした。 ・支援会議等、リーダーに任せっきりになってしまったので、後期は自分が副リーダーであることをもっと自覚し、行動していく。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで出た話題を支援会議に繋げていけるよう、自分の困っている所などを積極的に発言するようにした。

<p><個別支援指導副R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の発達に応じて適切な援助を行えるよう、周りの職員にアドバイスをもらえるような話し合いを実施する。 ・Rと相談しながらミーティング等でも進めていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ミーティングや支援会議、支援シート等を活用し、多角的に見て個々の情報共有を図っていくことで職員が同じ方向で援助していくようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ミーティングや支援会議を通して個々の情報を職員間で共通理解されていたか。また、援助方法等に道筋はついてきたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ミーティングや支援会議を通してその時の姿を多角的に捉え、共通理解につなげることができた。また、普段の保育の中で一人一人がどのような子であるのかを気かけ、その子らしさを大事にしようとするきっかけにもつながったと感じる。話し合いで活発な意見交換をしていくことでミーティングの質も向上した。 ・学年ミーティングや支援会議を通して個別で深い話し合いができた。Rがいない際に進行も行ったが時間内にまとめることが難しかった。自分のクラスの子どもの事例として出したが支援シートの書き方が難しいと感じることがあったので、聞かれた際に分かりやすく説明できるようになりたいと感じた。
---	--	--	---

研究

<評価項目>・視点	3年度の方向性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<p><園内研究R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びと学びの発信 『楽しく保育を語り合い、互いに学び合う』 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の楽しさや発見を語り合い、学び合う ・一人一人のよさや可能性を引き出す保育を目指していく ・保育を保護者に発信していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年ミーティングで語り合われた内容を更に全体で取り上げ、多角的に子どもの姿を捉え、共感、発見できるようにする。 ・グループ協議では、声を上げたくないようなメンバー編成を心掛ける ・2カ月に一回、全職員でドキュメンテーションを作成する。季節ごとの保育の遊びから学んでいることや発見、楽しさを保護者に向けて発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての試みであったが、各クラス、年齢毎の保育や子どもの姿を知り、保育者それぞれの立場からの感じたことを気軽に話せる雰囲気が出ていた。 ・資料作りに時間がかかってしまった。パソコンから写真を印刷する等、慣れていくことが一番だと思うが、勤務時間内にできないのが現状である。ドキュメンテーションも時間内に出来上がるようにと考えるが、なかなか難しい。 ・後半、ドキュメンテーションのみの研究となる。写真から子どもの姿を追い、様々な角度からの読み取りができたこと、チームの先生方との共有できる部分が増えていったことなどから、楽しみながら研究を進めていけたように思う。 ・資料作りについては、まだ時間内に作成することは難しい。取り組みを重ねていながら見直しをし、改善をしている段階である。保護者に向けての発信としてとても重要だと思えたので、次年度も引き続き取り組むのもよいと思う。
<p><園内研究副R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の準備や資料集め作成等、研究Rのサポートをする ・研究の方向性を理解して動く 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究リーダーとよく話し合い、その中で研究について理解し、共通理解の中で研究主任が動きやすいようにサポートしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回は研究リーダーと話し合い、理解を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか研究リーダーと話す機会が作れず、研究会のギリギリになることが多かった。声を掛けられるまで抜けてしまっているため自分から積極的に声をかけていきたい。 ・もう少し自分自身がドキュメンテーションについて理解していきたい。 ・リーダーと話すことがやはり少なく任せることになり反省がとても多い。話し合えた時には同じ気持ちですすめられるように一緒に私なりに考えていった。 ・ドキュメンテーションへの学びが自分の中でまだ浅く反省。

<p><園内研究副R> ・Rの先生の姿を学びながらサポートしていく</p>	<p>・研究の日の前に必要となる準備物などないか、自らリーダーに確認し、用意する。</p>	<p>・事前に準備物など確認し、一緒に準備を進めていく</p>	<p>・初めは任せきりになってしまっていたが、途中からは自ら準備などがあるか聞いて、一緒に準備を進めることができた時もあった。</p>
<p><保育環境 R> ・子どもや職員が過ごしやすい環境づくりを進める ・職員で話し合いながら環境づくりを行う</p>	<p>・職員間で共通理解ができるよう周知の仕方を考え、声を掛け合い、確認していく。 ・職員間で話しやすい雰囲気を作り、環境の改善を図っていく。</p>	<p>・月1回は環境班で話し合い、内容によっては担任ともよく話し合う。 ・職員に積極的に声をかける</p>	<p>・職員会議ギリギリに環境班で話し合うことになってしまっているので、ゆとりをもって話し合いの場を設けていきたい。 ・玄関壁面について等、早めに担当者に声をかけるようにしている。</p> <p>・職員との話から出てきた環境のことについて、また自分から思ったことについて声にして伝えるよう心掛けられた。ただ中途半端になってしまうこともあったので反省する。 ・玄関壁面は、内容を考慮し、変更もかけながら進められた。</p>
<p><保育環境副 R> ・月間絵本、図書の管理 ・教材室の管理 ・保育環境の整備</p>	<p>・保育しやすい環境を整えていく。 ・環境リーダーと相談し、よりよい保育環境を考えていく。</p>	<p>・一週間に一回教材室の在庫を確認したり、整理整頓したりする</p>	<p>・教材室の確認は月1回程度となってしまった。少なくなってきたものを教えていただくことがあり、感謝するとともに後期はもっと時間を見つけて在庫の確認、整理整頓をしていくようにする。</p> <p>・行事や季節の製作などに合わせて、必要なものを先生方に聞いたり、予想して発注したりした。</p>
<p><保育環境副 R> ・Rの先生の姿を学びながらサポートしていく</p>	<p>・普段の保育の中での気づきを大切に、環境について改善した方がいいと思うことなどを積極的にリーダーに相談する</p>	<p>・毎月の職員会議の前にリーダーに気づきを伝える</p>	<p>・リーダーに自ら伝えるのは正直難しかった。リーダーの環境提案を受け、それについて改めて共感することが多かった。</p>
<p><園庭の環境> ・花壇、畑の整備</p>	<p>・安全で楽しく遊べる環境づくりに努める ・それぞれの年齢が遊びにつながる環境づくり ・担当者や職員、保護者の協力を得て、行事につなげる</p>	<p>・自然環境が危険につながらないように点検を行う ・各クラス担任と連携を取りながら進める</p>	<p>・屋根から吊るしたネットの止め金が何度も外れ、先生方に周知したがなかなか改善できなかった。今後の課題。 ・花を摘む楽しさや色水、ままごと等に使ってもらえた。 ・今年は保護者の環境整備事業が行えず、草取りが追いつかなかった。(花に水を上げてくださった先生方、ありがとうございました。)</p> <p>・昨年の反省を踏まえ、早め早めの設定、活動をすることができた。 ・植え方の工夫でもっと子どもたちの活動に生かしてもらえるように考えていきたい。 ・収穫のタイミングと子どもたちの活動を合わせるが出来ない時もあった。来年に向け検討していきたい。</p>

生活

＜評価項目＞・視点	3年度の方向性	評価指標	中間評価
			年度末評価
＜食育 R＞ ・給食の献立作成 ・食育活動 ・個々に合った食事の提供（月齢）	・季節に合った献立の作成を心掛け、旬のものを美味しく食べることができ調理法の検討。 ・畑の野菜、給食の食材に多く触れ、親しみをもてるようにクラスの先生方と協力して行う。 ・離乳食、食事が気になる子や月齢に合った食事の提供を心掛ける。	・旬の野菜を多く使用し、伝える。 ・畑の野菜を美味しいうちに食べられるよう、すぐに調理して提供する。 ・食材に触れる機会を多く作る。 ・個々に対応できるように、教室を回り、食事の様子をよく見る。	・畑の野菜の収穫から、どうやって食べたいのか子どもや先生方と相談しながら美味しくいただくことができた。給食の献立作成時にも使用できる食材を考慮しながら立てることができた。 ・収穫や皮むきもほとんどのクラスの子どもが関わることができた。 ・個々に対応する食事提供のため、給食に関する会議の時間も作ることができたらよかった。 ・畑の野菜を最後まで味わうことができよかった。 ・食材を見せたり、食べ物の話を食事の時に声をかけたりしていたこともあり、食に興味をもつ子が増えたように感じた。「このやさいは〇〇」「この前は汁に入っていたね」という声が自然にでていた。 ・クラスからの声を拾い、食器や形状の対応ができた。
＜食育副 R＞ ・食育指導 ・給食調理	・献立内容を事前に確認し、当日の動きをシュミレーションする。 ・給食を子どもたちと食べながら、今日の献立に入っている食材や調理について伝える。 ・行事食の食育指導で食の文化や楽しさについて伝える。 ・3色栄養で食材とその役割を知ること、食べようという意欲につなげていく。	・前日と当日の朝に一日の調理工程をシュミレーションする。 ・出来るだけ毎日一緒に給食を食べながら、食材や調理の説明をし、食べてみてどのような反応をしているかをつかむ。 ・自分の担当の行事食食育指導では子どもたちに伝わるような媒体を工夫して作り、発表する。 ・出来るだけ毎日3色栄養を子どもたちと一緒に楽しみながら行う。	・毎日の調理で回を重ねるごとに離乳食の調理手順や代替献立が少しずつ分かるようになり、幼児食もメモを記録することで献立のパターンに気付き、調理手順も分かるようになった。 ・献立と発注書の内容を照らし合わせて確認を一緒に行うことで、調理工程への理解は深まったが、当日入った時に消極的に動いてしまうため、しっかり実行できるように積極的に動くことを意識する。 ・給食を子どもたちと一緒に食べることで、クラス毎の食事の進み具合や、調理や食材による残食の違いを知ることができた。 ・子どもの日の食育指導を行い、子どもたちの目線になって子どもたちが楽しんで見たくなるような媒体と説明の工夫ができた。 ・3色栄養は出来る限り毎日積極的に行うことができた。
＜食育副 R＞ ・育てる環境	・食べ物への興味関心をもたせる環境作り ・育てる楽しさや収穫の喜びを体験できる環境作り	・季節に合った野菜を育てる ・それぞれの学年が関われる野菜を植える	・野菜の種類を増やし、色々な物に触れ合うことができた。 ・早め早めに苗を植え、種まきもでき、それぞれの学年が収穫にも関わることができた。 ・それぞれの年齢ごとに収穫に携わることができた。 ・来年度は先生方全員から意見をいただき、年齢に合う遊びや体験につなげていきたい。 ・収穫した野菜、くだもの、全て給食に使っていただきました。ありがとうございました。
＜保健衛生 R＞ ・保健だより発行 ・健康観察	・保健計画を計画的に実施する ・職員への働きかけを考える	・月1回の保健だよりの発行 ・保健日誌の記入、統計評価 ・感染症のまん延の有無	・保健だよりは4月から7月までの毎月1回の発行を行った。 ・保健日誌の記入は毎日行っている。統計評価は年度末に行う。 ・感染症の散発はあったが、まん延はしなかった。市内の小児科

<ul style="list-style-type: none"> ・傷病の手当 ・感染予防策の実施 			<p>からもみどりの保育園の受診は少ないとの評価を頂いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりは月1回発行した。 ・感染研修をしたことにより職員への周知ができた。 ・手足口病の流行はあったが、全国的なものであり、感染対策は問題なかったと思われる。
<p><保健衛生副R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R相談、打合せをしながらよりよい衛生環境の下で保育ができるようにする。 ・職員への周知徹底するための方策を探る 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭砂場消毒計画の作成実施 ・長期休み、保育協力期間中の清掃計画の作成 ・看護師と相談して決めたことやお知らせを終礼や職員会議で知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漏れや遅れ等がなく、毎月の園庭消毒が出来ていたか。 ・協力期間中の清掃計画に不備や無理はないか。 ・方向性に示したことを的確に職員に周知することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の砂場消毒に加え、動物のフンなどがあった際にはほとんどの職員が消毒の手順で速やかに行うことができた。また、月末の全体消毒は2回ほど漏れがあったが、次の週に消毒し補うことができた。 ・看護師と打ち合わせを行ったが、自身の理解が足りず、上手く職員への周知をすることができなかった。理由や原因まで理解して知らせていくよう努力する。 <p>・12月末分より砂場消毒はなくなったが、そこまでは漏れなくできた。職員会議の際の提案について事前にRと確認し、不備がないようにしたが、数回他職員から聞かれた際に不安になることがあった。土曜日や早番の際に積極的に洗濯や掃除消毒に取り組むことを意識し実践していった。</p>
<p><保健衛生副R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の衛生管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの手洗いの徹底 ・給食の食材の納品を担当する ・給食室内の大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事前のクラスに入れる時、子どもたちに手洗いを促す。手洗いの大切さを伝える。 ・毎日の納品では、発注内容と違いがないだけでなく、食材の温度、状態の確認を行う。 ・お盆休みと年末に行う給食室の大掃除では、掃除をする場所を決め、表を作ってチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識的に子どもたちを手洗いに誘導し、確認を行うことができた。 ・毎日、発注内容に違いがないか確認はできていたが、納品した野菜が傷んでいて破棄したり返品したりすることがあった。見落としがないようにチェックをしていく。 ・お盆休み協力期間に掃除を行う場所を表で確認しながら大掃除をきちんと行うことができた。大掃除の表は改善する必要があるため、作り直して年末の大掃除に備える。
<p><安全・避難訓練R></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の計画と実施 ・安全点検の計画と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練経路や安全を確保するために日常的に整理整頓を行う。 ・災害発生時、職員が協力して対応するための体制整備を図り、月1回以上の訓練を通して対応の仕方を身に 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回の避難訓練を提案し、職員の協力を得ながら実施していく。 ・日常的な整理整頓を心掛ける。 ・実施内外の点検を行い、職員一人一人が安全の意識をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の回数を重ねるごとに職員も子どもたちもどのようにして身を守るかを体得している様子が見えてくる。 ・時間帯や想定する災害などを複合的に組み合わせた訓練も計画していきたい。 ・安全点検について十分に行えていなかったことを反省する。ケガ

	つける。 ・施設の安全点検を定期的に行う。点検表を用いて職員持ち回りで点検し、安全の意識をもつ。		や事故を防ぐため、気づいた点を知らせ合い、改善していきたい。 ・土曜日の訓練を計画、実施したことで課題点が見えた。今後精査していく。 ・災害発生時、どの職員でも対応できるように機器、設備の使い方を経験することが必要である。 ・訓練後の反省や気づきを皆さんに記入していただき有難かった。子どもたちの様子を知ることができた。
<安全・避難訓練副R> ・自衛消防訓練計画 ・交通安全指導計画 ・その他訓練計画	・年2回の自衛消防訓練計画 ・交通安全指導の開催 ・その他、適宜（不審者対応など）訓練計画	・消防署、警察、防犯協会と連携を図り、園の安全管理に必要な訓練計画を立て実施していく。	・前期の自衛消防訓練について、消防署からも大変良い評価をいただけた。非常時にも安全に行動できるよう、今後も適切な訓練計画を立て実行していく。 ・交通安全指導について交通安全指導員による訓練を計画したが、都合が合わず実施できなかったため、後期は計画通り実施する予定である。 ・事業継続計画に基き、バス会社との避難計画の共有、業務提携も進め、後期についてはバスを利用した避難訓練も計画していきたい。 ・自衛消防訓練は計画通り実施し消防署からの評価も良かった。またコロナ禍で実施が懸念されていた消火器を使用した消火訓練、煙体験も、計画通り実施できたことで、園児の防災意識もより強くなったのを感じることができた。 ・コロナ禍を考慮して訓練の中止や次年度への持ち越しを行った訓練も多く、第6派が収束する機会をみて実施していきたい。
<安全副R> ・ヒヤリハット、事故報告管理	・一定期間ごとに集計を行い、保育につなげる。	・日常の気づきを一週間以内に文章化し、職員全員に回覧、共有できるようにする。	・日々の気づきを職員間で声に出すことは見られるようになったが、文章化し記録に残すことが少なかった。声を上げてもらったものを記録に残していけるようサポートしながら、職員の意識を高めていけるようにする。 ・ヒヤリハット報告をその日のうちに終礼で伝えることで職員全員に知らせることはできたが、一週間以内に文章化することができなかった。再発防止に努めていくため、効率的に記録を残せるよう環境を整えていく。

子育て支援

<評価項目>・視点	3年度の方向性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<子育て支援R> ・子育ての喜びへつな	・地域の方や保護者の方々と手を取り合い、子どもたちの成長を温かく	・焼き芋会やにこにこ先生、絵本の読み聞かせ募集等のおたより発行(意図	・コロナ禍のため、企画ができなかったが、解除になったら可能な状況を把握しながら企画していきたい。子育ての喜びへとつなが

がる支援・発信	見守り、共に喜び合い、子育てが楽しめるよう支援・発信していく	や利点を伝えていく)	るよう、焼き芋会や読み聞かせ等のおたよりを工夫していく。 ・コロナが落ち着いたタイミングで読み聞かせ募集等のおたよりを発行することができた。絵本の読み聞かせでは、利点や意図を伝えることができた。ぜひ、次につながるよう、今後も発信し、写真なども取り入れながらおたよりを作っていきたい。
<子育て支援副 R> ・保健だより発行	・保健計画を計画的に実施する	・月1回の保健だよりの発行	・保健だよりは4月から7月までの毎月1回の発行を行った。 ・保健だよりは1カ月に1回の発行をした。 ・メールやTELによる相談の依頼はなかった。
<子育て支援副 R> ・食育だよりの定期発行 ・食に関わる活動の掲示	・月1回の食育だより発行 ・保護者の方々へ園での食に関わる活動や食材についてその都度お知らせしていく。	・旬の食材や食に関わることを伝えられるように、季節に合ったおたよりに作る。 ・給食展示や掲示を利用し、保護者の方々へ園での様子をお知らせする。	・月1回食育だよりを発行できた。 ・収穫した野菜のお知らせや、何に使用したのかを伝えるための掲示を作り、活用できた。 ・皮むきの様子なども写真におさめ、食育だよりにも載せてお知らせできた。 ・季節に合った食育だよりの発行ができた。 ・郷土食や野菜の紹介、三食栄養を日々掲示できた。保護者の方々からの声もあり、給食展示の隣にレシピの掲示なども行うことができた。

0歳児チームふたば組

<評価項目>・視点	3年度の方向性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<担任・学級経営> ・愛情に満ちた応答的な関わり	・一人一人の発達過程に留意し、心地よいと感じる環境	・月2回程度、ミーティングにはドキュメンテーションを取り入れ、子ども	・ミーティングでは写真があることでそれぞれが視覚的に捉え、そこから会話が弾み、一人一人の興味関心や発達、その子らしさを話

<p>↓</p> <p>・心身共に満たされることによる生活や遊びの充実</p>	<p>の工夫</p> <p>・職員間や保護者との情報共有や連携を大切にし、子どもの育ちを喜び合う。</p>	<p>の育ちや、保育者同士や保護者との対話を引き出す記録をしていく。</p>	<p>し合うことができた。</p> <p>・今後も写真を取り入れながら、さらに深く話し合うことで、幼児理解につなげ、環境の工夫や保護者へのドキュメンテーション作成につながるようにしていきたい。</p> <p>・その日その時間のタイミングを逃さずに情報共有を大切にしていたことで子どもの育ちや環境の工夫へつながった。まずやってみようと前向きに取り組んだことで、様々見えるところがあり、育ちを喜び合うきっかけにもなった。今後も写真を取り入れながら深く話し合えるよう場を作っていきたい。</p>
<p><副担任></p> <p>・一人一人が安心して生活できるように担任や同室クラスとの連携を図りながら保育する</p>	<p>・細かいことでも声に出し合い、情報交換を行う。</p>	<p>・1日に1回以上その日の保育でよかったと思うことや困ったことを伝えたり、自分から先生方に聞いたりする。</p>	<p>・自ら声を掛けて、コミュニケーションが取りやすい雰囲気作りをした。子どもたちの前で明るく、出来ることを精一杯出来たと思う。今の連携から更に、困ったことを解決したり、皆で力を合わせて作り出したりできるような工夫を考えていきたい。</p> <p>・連携を取りながら動けるようになり、少しずつ物事がスムーズに運べるようになった。保育士が安定して行動できるようになると子どもの安心につながった。</p> <p>・環境の改善で共通認識していることを、話し合う段階から実行に移すことを次の課題にして、より良くしていきたい。</p> <p>・1日に数回必ず話し合うことができて、連携が取りやすくなった。</p>
<p><0,1 歳児フリー></p>	<p>・0.1 歳児それぞれの状況に応じて臨機応変にサポートしていく</p>	<p>・担任の先生の思いを受け止めながら副担任の先生のサポートをしていく</p>	<p>8月より</p> <p>・0.1 歳児担当の保育者皆で日々語り合うことができ、皆が思いやアイデアを出し、個々の姿や成長に合わせた保育がなされていた。そのことが発表会の場でも普段の姿として表現で来ていて、何よりも担任と子どもたちとの信頼関係こそ最も大切と感じることができ、とても学びとなった。</p> <p>・行事等においては子どもの姿を見て援助しなければならないところ、見守ってもいいところを見極め、子どもの思いに寄り添うよう心掛けてきた。</p>

1 歳児チームあおぼ組

<評価項目>・視点	3 年度の方角性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<p><担任・学級経営></p> <p>・有効なチーム保育</p> <p>・一人一人が安心して遊</p>	<p>・それぞれの子どもの発達の様子をよく理解しながら段階に合わせた保育を大切にしている。</p>	<p>・チームでの情報共有や連携を密にしている。</p> <p>・家庭的な雰囲気を大切にし、一人一</p>	<p>・話しやすい雰囲気作りを心掛け、子どもの様子や悩み等、小さなことでも話すことができ、次につなげることができた。</p> <p>・ゆったりと過ごせるようなお部屋の工夫もしてきたが、0.1 歳</p>

<p>びだせる環境の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の興味関心に添った環境の工夫をし、安心安定して過ごせるようにしていく。 	<p>人の興味のある物や遊びを探りながら一人一人が安心して遊べるような空間づくりを心掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミーティングで作成した2週に1回のドキュメンテーションを提示し、保護者の方とも子どもの育ちを共有していく。 	<p>児が全員揃うとなかなか落ち着かなかつたり、トラブルが増えてしまったりするようにも感じた。部屋を分けて少人数でゆったりと遊ぶ時間を確保する等、一人一人に合わせた工夫を更に考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> クラス便りやドキュメンテーションでは写真を用いて保護者の方も楽しく見られるよう心掛けて作成した。日々の遊びから育ちの瞬間を丁寧に捉えて、これからも発信していきたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 個々のその日の様子を細かくとらえ、チームのTと情報共有を行い、次につなげることができたように思う。 天候が悪く外に出られない日も多くあった。その時に動きもどんどん活発になってきた子どもたちなので、お部屋やホールの使い方についてさらに0・1で連携しながら保育を進めていく必要があると感じた。 ミーティングのドキュメンテーション以外にもクラスだよりで、日々の遊びの様子を写真付きでのせ、保護者さんがみてたのしいクラスだよりづくりを心がけた。また個々によってたのしんでいることが違うのでなるべくおたよりにのる様に心がけた。
<p><副担任> ・担任、担当との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 担任、クラス内の先生方と連携を取りながら、子どもたちが安心して過ごせるような環境を作っていく。 個々に合わせた関わりや援助を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 午睡の時間等にその日にあったこの様子や気になったことなどをクラスの先生方と10分は伝え合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々慌ただしく過ぎていく中で、子どもたちの様子や日中の活動、保育について、困っていることなどを毎日伝え合うように心掛けた。子どもの日々の成長を自分では気づかずしていたこともクラスの先生方から聞くことができ、今の子の姿を捉えることにつながった。 「こういうのを作りたい」と担任の先生が伝えてくれるが、それを作る時間がなく、結局、担任の先生に任せてしまうことになってしまった。事務を要領よく進め、保育に関する作り物をみんなで作る時間を確保していきたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 日々の出来事や子どもたちの様子、成長、気付いたことなどを毎日伝え合うことができた。また、確認し合うことで、子に対して同じ思いで保育にあたることができた。 保育や行事に関わる作り物を作る時間を確保しようと思っていたがなかなか難しかった。要領よく進められるようになりたい。
<p><サポート> ・一人一人の個性及び発達過程の把握 ・年齢に適した環境設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の個性及び発達過程を理解した上でクラス運営がスムーズに行われ、一人一人が心身ともに健やかに成長できるようサポートしていく。 一日の保育が安全かつスムーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の振り返りを細やかにを行い、担任と情報共有し、共通認識をもち、保育を展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任の指導案に基づいた保育を展開できるよう、細やかに確認を行い、楽しい雰囲気のもと保育を展開できたと思う。また、日々の振り返りの中で子どもの発達や保育内容の改善点を話す機会を十分に設け、共通認識を深めるよう努めた。養護の面においては、安全監視が最優先になり、十分に時間をかけて関わるのが難しく感じることも多い。一人一人と密にかかわる機会を意識的にもち、信頼関係をさらに深めていきたい。

	<p>に展開できるよう担任と意思疎通を図り、環境を整え、準備を行う。</p>		<p>・担任と十分な意思疎通を図り、年齢や発達・興味に応じた保育が展開できるよう補助を行った。保育がスムーズに展開できるよう、その都度確認するよう配慮した。補助の立場から、皆が楽しく活動できるようサポートできたと思う。また、ひとりひとりの思いを汲んで意思疎通を繰り返すことで信頼関係が深まったように感じた。事務を要領よくこなすことができず、改善点となった。</p>
--	--	--	--

2歳児チームにし組

<p><評価項目>・視点</p>	<p>3年度の方角性</p>	<p>評価指標</p>	<p>中間評価 年度末評価</p>
<p><担任・学級経営> ・一人一人に寄り添った保育 ・子どもの姿に合った環境の工夫</p>	<p>・副担やサポート T と共に子ども一人一人の理解や対応の仕方を話し合い、共通理解して保育を進める。 ・子どもの発達や動きに合わせた保育環境を考え、実践し、再構成も行っていく。</p>	<p>・週1回以上クラス内で話し合う。できれば一日5分でも子どもの姿について共有する時間を設ける</p>	<p>・日々の保育の中で気づいたことを話すようにしている。いろいろな面で子どもの様子について聞けるのでとても参考になる。 ・保護者とも話すようにしているが、子ども・保護者含めてどのようにすすめていくか課題は多い。 ・副担任と小さいことも話しながらすすめていくことを心掛けた。また、提案もしてくれるので子どもの姿を考えながら保育していった。 ・遊びの環境を整える時間がなかなか作れず反省。 ・保護者への声掛け・面談を積極的に行った。</p>
<p><副担任> ・よりよいサポート</p>	<p>・担任がよい保育が進められるようにサポートする</p>	<p>・担任と1日1回はコミュニケーションを取り、より良い方向に進められるようにサポートする。</p>	<p>・朝の子どもたちの様子など伝え合い、その日の活動を決めていったりすることができた。 ・部屋の環境について話し合いをしながら、子どもにあった環境にしていくことができた。 ・前日や朝に活動内容について話し合い準備をして取り組むことができた。 ・子ども達の発達の様子など気が付いた時に話し合い、援助や接し方を工夫していくことができた。</p>
<p><サポート> ・よりよいサポートをする</p>	<p>・クラス担任がクラス経営をしやすいサポートをする ・未満児クラスの個々の様子を把握しながら子</p>	<p>・ミーティングでは一度は発言し、保育の方角性をすり合わせていく ・0,1歳児クラスにお手伝いに入ること</p>	<p>・保育の流れを知り、分からないことは確認するようにしてサポートに努めた。 ・8月より副担任となる</p>

	<p>どもの思いに添った援助をしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中、リズムでの体の動きにも目を向け、左右差のある子、体の弱さ、固さのある子に無理なく体作りにつながるよう促していきけるようにする。 	<p>も多いので、クラス担任に一日に一度は声をかけ、サポートしやすいよう連携を図るようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと信頼関係を築けるようスキンシップを図りながら丁寧にかかわった。 ・身の回りのことを自らやろうとする姿を見守ったり、さりげなく手を添えたりし、一人で出来た喜びを味わえるよう援助してきた。 ・先生方とコミュニケーションを図り、チームでよりよい保育に努めた。
<p><サポート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の思いに添ったよりよいサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任のねがいを理解し、子ども一人一人の思いに添ったよりよいサポートを心掛ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や先生方に積極的に声をかけ、子どもの様子を把握したり援助を学んだりしたりし、よりよいサポートをする。 ・子ども一人一人をしっかり見守り適切にかかわっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方と積極的にコミュニケーションを図り、よりよいサポートができるように努めた。 ・子どもたちの様子をしっかりと見て、その子の思いに添いながらかかわっていくよう努めた。今後も、頑張っていきたい。
			<ul style="list-style-type: none"> ・先生方とコミュニケーションを取り合うことに努め、たくさん学び、よりよいサポートに努めることができた。子ども一人一人の育ちもチームで捉え、喜び合えることができ、楽しい保育につながった。
<p><サポート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人にあったサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の一人一人への思いを理解しサポートしていく ・担任の考えた物的環境（手作り）を、タイミングを逃すことなく整えられるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々コミュニケーションをとり、担任の思いに添った保育につなげる ・担任の考える環境作りをサポートし、よりよい保育につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日一回は、また、時々で担任とコミュニケーションをとるようにした。最近3人で話し合える時間があり、それも日々必要だと感じた。 ・手作りの環境として、自分で着替えやすいように、また、絵本コーナー用に長椅子が足りなかったのもう一つ。テーブルを出さないでおやつを食べる時用にテーブルを一つ、作る事ができた。
			<ul style="list-style-type: none"> ・チームでコミュニケーションを取り合うことが出来たと思う。 ・特に手作りの環境は作らなかったが、行事の製作など思うように下準備が出来なかったので、効率よく進めていくようにしたい。

3歳児チームおひさま組

<評価項目>・視点			中間評価
-----------	--	--	------

	3年度の方向性	評価指標	年度末評価
<担任・学級経営> ・学級運営 ・職員連携	・子ども一人一人の育ちを捉え、環境構成や援助方法を考え、保育する。 ・チーム内で情報を共有し、みんなですべてを保育を考えていけるようにする。	・1週間に1回のミーティングでの情報共有や保育環境の整備を大事にする。	・ミーティングでは一人一人の子どもの姿を語り合うことで子どもを多角的に捉え、保育につなげることができた。 ・保育室や園庭の環境を整えることがなかなかできずにいるので、ミーティングの時間も活用していくようにする。 ・ミーティングの時間を支援会議や行事の準備に活用し、時間を有効に使うよう心がけた。 ・ミーティングでは、子どもの姿を共有し、自分の困っていることも挙げながら、他の先生方の考えも聞くことができた。
<担任・学級経営> ・生活の流れが分かり、一人一人が安心して過ごせるようにしていく。 ・子どもたちが楽しいと思える遊びの環境を工夫していく	・一人一人の安定に努め、職員間で連携しながら個々の姿に寄り添っていく。 ・戸外、室内の環境を工夫したり、簡単なルールのある遊びを提案したりし、一緒に楽しんでいく中で子どもたちが主体的に遊び込めるように工夫する。	・個々の情緒が安定し、安心して過ごす。 ・日々子どもたちの遊びや活動が充実し、満足感を味わえるように工夫する。	・登園時に泣いてしまうことはあったが、毎日の生活や遊びを通して安定してきたように感じる。クラスとして落ち着き、職員との関わり、友だちとの関わりを楽しめるようになってきた。それは、職員間で連携を図り、一人一人個々の姿に寄り添った援助があったからだと思う。 ・環境の工夫は難しかったが、様々なルールのある遊びを提案し、子どもたちと本気で遊んでいく中で子どもたちから「もう1回!」「○○やりたい!」等、声が出てきたことはよかった。 ・運動会や発表会を通して、子どもたちが自信をもって生活している様子が表れてきた。子どもたちも生活の流れが分かり好きな遊びができたことで環境や友だちに対し積極的にかかわる姿が出てきている。保育者との信頼関係が出来てきて、自分の思いをよく出すようになってきたので、そのかわり方をクラスミーティングなどで先生方からアドバイスをもらい、思いを受け止めながら安心して遊びに意識が向くよう努めている。
<副担任> ・連携 ・幼児理解 ・適切なかかわり、援助	・担任や担当と連携を図りながら保育を進めていく。情報交換を密にしていく ・子ども一人一人をよく見て、今、その子にどのようなかかわり、援助が必要であるかを見極め実践し、船長につなげていく。	・週1回のミーティングで困っていることや気づき等を発言する。	・普段の保育の中で先生方と積極的に子どもの姿について話をできたのは良かった。ミーティングで発言し、他の先生方の話を聞くことで改めて自分の保育を見直し、子ども一人一人との関わり方を考えながら保育できた。迷ったり、難しさを感じたりした時に相談することができたので良かった。
<副担任> ・職員間の連携 ・幼児理解、信頼関係	・子どもの日々の様子や連絡事項等、職員との連携を密にし、子どもや保護者が安心して通えるようにしていく。 ・多くの子どもとかかわり、興味や内面を理解していく中で、信頼関係を気	・チームの先生方に、子どもや保護者からの連絡事項等をその都度伝えていくようにする。ミーティングで1回は発言し、情報の共有をする。 ・1日1回はどの子どもとも会話を交わ	・日常の連絡はこまめにすることができたが、ミーティングでの発言が少なかった。子どもの様子をその都度書き止め、伝えられるようにする。 ・子ども一人一人について分かってきたので、後期は子どもの興味関心に添った遊びの環境や援助を考えていきたい。

	づいていけるようしていく。	し、内面理解や信頼関係につなげていく。	・ミーティングでは、発言することを意識したことにより、職員間での情報共有をすることができた。 ・行事、生活の流れや、子ども理解ができてきたことにより、副担任としてのサポートの動きが分かってきた。
--	---------------	---------------------	--

4・5歳児チームかぜ・そら組

<評価項目>・視点	3年度の方向性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<4,5歳児学級経営> ・異年齢保育を充実させていく ・保護者とのかかわり（・子どもの育ちを共有、共感する・保育を発信していく） ・チーム保育を充実させていく	・子ども一人一人の姿を捉えていきながら、子どもたちが主体となって楽しくウキウキワクワクするような遊びや生活が展開していけるような工夫をする。 ・クラスだよりやドキュメンテーションを通して子どもたちの姿を発信していく。 ・ミーティングで保育を語り合う。	【保護者との情報交換】子どもの姿をできるだけ言葉で伝え、共感し合いながら、保護者の姿も捉え、かかわっていく。 【クラスだより】月1回又は2回発行予定。経験していること、学んでいること、困っていること等、写真や文章で伝えていく。 【ミーティング内容の充実】午前午後の保育、子どもの姿の情報交換 子どもの育ちを共有し、困りや悩みを言い合える雰囲気作りをする。	・ホールが保育室という新しい環境の中で、子どもたちも保育者も不安に思うことが多々あったが、どのように保育を進めていくか、チーム内で各自の立場からいろいろな思いを上げていけたことで、少しずつ安定してきたように思う。 ・安定することを重点に保育を進め、一人一人の育ちを捉え、対応できるようになってきた。4歳児として、5歳児として、集団での育ちを伸ばしていきたい。そのためにサポートTとの連携を密にしながらか保育を進めていきたい。 ・保護者との信頼関係を築きながら保育を進めていくことを大切にしていた。チーム内で子どもたちの育ち、保育を進めていくにあたっての困りや悩みを気軽の話せる環境を作れるように心掛けた。実際、様々な活動、事務処理等でなかなか思うようにいかないこともあったが、時間の有効活用をしながら保育をしようという意識は強くなった。 ・4歳、5歳と後半は保育を別々にすることでその年齢への指導ができていたように思う。落ち着いた場所、環境はとても大切だと痛感する。

3・4・5歳児サポート

<評価項目>・視点	3年度の方向性	評価指標	中間評価
			年度末評価
<サポート>	・各チームで話し合っ、一人	・毎日、時間を見つけて、クラスの	・一人一人に丁寧にかかわり、その場面、場面で支援し、担任につなげていった。（トイレ、廊下、玄関等）

<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任がどのように捉えているかよく理解してサポートしていく。 	<p>一人に丁寧にかかわっていくように努めていく。</p>	<p>担任と5分ミーティングをして、次の保育につなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス一人一人の成長を担当と確認しながら個々にかかわっていくことができた。
<p><サポート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・真剣に幼児の世界に触れようと努めながら、「ヤッター」「やれたー」と子ども自身が思えるようなことを一緒に増やしていきたい。(ちょっとした間の“心の居場所”になれたら嬉しい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の子どもたちの発達に見られる問題や課題を担当や担当の職員と話し合い(分析)ながら、保育者や保護者の方々の手助けになれるように関わっていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活がスムーズに流れるよう、午前の子どもたちの様子を共有し午後につなげていく。 ・午後でも安心して自分らしさを発揮できるよう、子どもたちとよりよい関係性を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後～夕方にかけての子どもたちが楽しい時間になるよう努めながら、私自身も癒されていた。 ・午後の保育も手を抜かず、子どもたちが明日への楽しみや自信につながるような活動にしたいと思ってきたが、引き出しの無さに申し訳ないという気持ちになることが多々あった。 ・クラスの子の保護者対応を、午後担当の立場から少しでも伝えるようにしていきたい。 ・午後の限られた時間の中で経験させたいこと(指先を使った遊び、集団でルールのある遊び)を十分とは言えないが出来たように思う。一緒に遊び、楽しさを共感していく中で、その子の良さをたくさん発見できたことは喜ばしいことだった。また、長時間共に過ごすことで仲間意識も育っていると感じた。 ・課題と思えたこともミーティング等で話すことができ、午前の様子も知ることができた。 ・子ども自身が自分で決めて「やってみよう」と思える環境や状況作りを心掛けた。その様子を午後担当としての立場で少しは保護者の方にも伝えることができた。

令和4年3月2日

みどりの保育園
保護者各位

みどりの保育園
園長 高木 宏子

本園の保育等に関する保護者アンケートの結果について

先日実施致しました保護者アンケートでは、様々なご意見ご感想をいただきありがとうございました。園に対するご理解とご協力にたいへん感謝申し上げます。

皆様に保護者アンケートの結果をお知らせし、みどりの保育園のよさを保護者の方々と共に認識すると同時に、課題を見出し、更によりよい保育と運営の方向性を見出していきたいと思っております。保護者アンケートの結果も取り入れながら、園内で園運営や保育のあり方に関する反省・検討を行い、次年度の改善に向けていきたいと考えております。

回答率 93.75% (80人中75人回収)をいただきました。ありがとうございました。

<0歳児>

1:とてもそう思う 2:そう思う 3:あまりそう思わない 4:全くそう思わない

質問内容		1	2	3	4
お子さんの様子についてお聞きします。					
げんきな子	1 体を動かして遊ぶことを喜ぶようになった	83.3	16.7	0	0
	2 家庭でも戸外で遊ぶことを喜ぶようになった	66.7	33.3	0	0
	3 食べることを楽しみ、よく食べるようになった	66.7	16.7	16.6	0
	4 楽しく園生活を過ごしていると思う	100	0	0	0
やさしい子	1 身の回りの簡単なことを真似してやってみたがるようになった	83.3	16.7	0	0
	2 自分の思いを表情や指差して表そうとするようになった	100	0	0	0
	3 身近な人との触れ合いを喜び、安心して過ごすようになった	100	0	0	0
かんがえる子	1 身近な自然(草花や水、砂等)に触れ、感触を楽しむようになった	66.7	33.3	0	0
	2 リズムに合わせて動くことを喜ぶようになった	100	0	0	0
	3 絵本を読んでもらうことを喜ぶようになった	66.7	33.3	0	0
保育園の運営に関わることについてお聞きします。					
子育て支援	1 園は子育て相談等に気軽に、且つ専門性をいかして適切に応じていると思う	83.3	16.7	0	0
	2 送迎時等で子育てに関する悩み等を伝えることができたと思う	83.3	16.7	0	0
	3 保育者は家庭への連絡や保護者との意思疎通を丁寧に行っていると思う	66.7	33.3	0	0
情報提供	1 園便りやクラス便り、連絡帳等で園の様子をだいたい捉えることができている	83.3	16.7	0	0
	2 お便りや行事ごとに出される文書等で保育方針や目的等が伝わっている	66.7	33.3	0	0
保育参加	1 保育参加等を通して様々な子どもたちの様子を知ることは大事であると思う				
	2 PTA活動を通して「子どもたちのために」という意識が養われた				

○ 子育てに関する悩みや不安にはどのようなことがありますか。(複数回答有)

- 1 基本的な生活習慣(片付け・挨拶・食事態度・身辺自立など)の形成に関する事【3人】
- 2 自分(幼児)の気持ちをコントロールする力を育てること【4人】
- 3 コミュニケーション(意思や感情を伝える・身近な人との会話を楽しむ)力【2人】
- 4 親子関係【0人】

5 友達関係【0人】

6 その他【0人】

<1歳児>

1:とてもそう思う 2:そう思う 3:あまりそう思わない 4:全くそう思わない

質問内容		1	2	3	4
お子さんの様子についてお聞きします。					
げんきな子	1 体を動かして遊ぶことを喜ぶようになった	100	0	0	0
	2 家庭でも戸外で遊ぶことを喜ぶようになった	88.9	11.1	0	0
	3 食べることを楽しみ、よく食べるようになった	66.7	33.3	0	0
	4 楽しく園生活を過ごしていると思う	100	0	0	0
やさしい子	1 身の回りの簡単なことを真似てやってみたがるようになった	100	0	0	0
	2 自分の思いを表情や指差し、言葉で表そうとするようになった	100	0	0	0
	3 身近な人との触れ合いを喜び、安心して過ごすようになった	88.9	11.1	0	0
かんがえる子	1 手指を使った遊びを楽しむようになった	88.9	11.1	0	0
	2 身近な自然（草花や水、砂等）に触れて遊ぶようになった	77.8	11.1	11.1	0
	3 描いたり作ったりすることを楽しむようになった	44.5	44.4	11.1	0
	4 絵本を読んでもらうことを喜ぶようになった	66.7	33.3	0	0
保育園の運営に関わることについてお聞きします。					
子育て支援	1 園は子育て相談等に気軽に、且つ専門性をいかして適切に応じていると思う	66.7	33.3	0	0
	2 送迎時等で子育てに関する悩み等を伝えることができたと思う	77.8	22.2	0	0
	3 保育者は家庭への連絡や保護者との意思疎通を丁寧に行っていると思う	88.9	11.1	0	0
情報提供	1 園便りやクラス便り、連絡帳等で園の様子をだいたい捉えることができている	88.9	0	11.1	0
	2 お便りや行事ごとに出される文書等で保育方針や目的等が伝わっている	88.9	0	11.1	0
保育参加	1 保育参加等を通して様々な子どもたちの様子を知ることは大事であると思う				
	2 PTA活動を通して「子どもたちのために」という意識が養われた				

○ 子育てに関する悩みや不安にはどのようなことがありますか。（複数回答有）

- 1 基本的な生活習慣（片付け・挨拶・食事態度・身辺自立など）の形成に関する事【4人】
- 2 自分（幼児）の気持ちをコントロールする力を育てること【5人】
- 3 コミュニケーション(意思や感情を伝える・身近な人との会話を楽しむ)力【2人】
- 4 親子関係【0人】
- 5 友達関係【3人】
- 6 その他【0人】

<2歳児>

1:とてもそう思う 2:そう思う 3:あまりそう思わない 4:全くそう思わない

質問内容		1	2	3	4
お子さんの様子についてお聞きします。					
げんきな子	1 体を動かして遊ぶことを喜ぶようになった	90.5	9.5	0	0
	2 家庭でも戸外で遊ぶことを喜ぶようになった	90.5	9.5	0	0
	3 食べることを楽しみ、よく食べるようになった	61.9	33.3	4.8	0
	4 楽しく園生活を過ごしていると思う	90.5	9.5	0	0
やさしい子	1 身の回りの簡単なことを自分でやってみたがるようになった	71.4	28.6	0	0
	2 自分の思いを言葉で伝えようとするようになった	81.0	19.0	0	0
	3 身近な人との触れ合いを喜び、安心して過ごすようになった	76.2	23.8	0	0

かんがえる子	1	手指を使った遊びを楽しむようになった	90.5	9.5	0	0
	2	身近な自然（草花や水、砂等）に触れて遊ぶことを楽しむようになった	85.7	14.3	0	0
	3	描いたり作ったりすることを楽しむようになった	90.5	9.5	0	0
	4	絵本を読んでもらうことを喜ぶようになった	90.5	9.5	0	0
保育園の運営に関わることについてお聞きします。						
子育て支援	1	園は子育て相談等に気軽に、且つ専門性をいかして適切に応じていると思う	76.2	23.8	0	0
	2	送迎時等で子育てに関する悩み等を伝えることができたと思う	71.4	28.6	0	0
	3	保育者は家庭への連絡や保護者との意思疎通を丁寧に行っていると思う	81.0	14.3	4.7	0
情報提供	1	園便りやクラス便り、連絡帳等で園の様子をだいたい捉えることができている	85.7	14.3	0	0
	2	お便りや行事ごとに出される文書等で保育方針や目的等が伝わっている	85.7	14.3	0	0
保育参加	1	保育参加等を通して様々な子どもたちの様子を知ることは大事であると思う				
	2	PTA 活動を通して「子どもたちのために」という意識が養われた				

○ **子育てに関する悩みや不安にはどのようなことがありますか。（複数回答有）**

- 1 基本的な生活習慣（片付け・挨拶・食事態度・身辺自立など）の形成に関する事【11人】
- 2 自分（幼児）の気持ちをコントロールする力を育てること【7人】
- 3 コミュニケーション(意思や感情を伝える・身近な人との会話を楽しむ)力【6人】
- 4 親子関係【1人】
- 5 友達関係【1人】
- 6 その他【0人】

<3歳児>

1：とてもそう思う 2：そう思う 3：あまりそう思わない 4：全くそう思わない

質問内容		1	2	3	4	
お子さんの様子についてお聞きします。						
げんきな子	1	体を動かして遊ぶことを喜ぶようになった	61.9	33.3	0	4.8
	2	家庭でも戸外遊びをすることが増えた	33.3	38.1	23.8	4.8
	3	様々なことに挑戦してみようとする気持ちが育ってきた	61.9	38.1	0	0
	4	明るくのびのびと園生活を過ごしていると思う	66.7	33.3	0	0
	5	食事の時間を楽しみ、嫌いなものも食べてみようとする気持ちが育ってきた	42.9	38.1	19.0	0
やさしい子	1	自分でいろいろなことをやってみたがるようになった	81.0	19.0	0	0
	2	食事の準備や排泄の始末、片付け等を自分でするようになった	38.1	38.1	23.8	0
	3	身近な人と挨拶を交わすようになった	38.1	57.1	4.8	0
	4	身近な人や友達に関心を持ち、かかわりをもちたがるようになった	47.6	52.4	0	0
かんがえる子	1	自然物に触れて遊ぶことを喜ぶようになった	61.9	28.6	9.5	0
	2	自然事象等に興味をもってかかわり、感動を伝えようとするようになってきた	47.6	47.6	4.8	0
	3	絵本を読んでもらうことを喜ぶようになった	71.4	14.3	9.5	4.8
	4	相手の話に関心をもって聞こうとするようになってきた	52.4	42.8	4.8	0
	5	絵を描く、製作する等、自分で考えたことを表現することを喜ぶようになった	71.4	23.8	4.8	0
保育園の運営に関わることについてお聞きします。						
子育て支援	1	園は子育て相談等に気軽に、且つ専門性をいかして適切に応じていると思う	57.1	38.1	4.8	0
	2	送迎時等で子育てに関する悩み等を伝えることができたと思う	42.9	42.9	14.2	0
	3	保育者は家庭への連絡や保護者との意思疎通を丁寧に行っていると思う	47.6	47.6	4.8	0
情報	1	園便りやクラス便り、連絡帳等で園の様子をだいたい捉えることができている	38.1	61.9	0	0

	2	お便りや行事ごとに出される文書等で保育方針や目的等が伝わっている	47.6	47.6	4.8	0
保育参加	1	保育参加等を通して様々な子どもたちの様子を知ることは大事であると思う				
	2	PTA 活動を通して「子どもたちのために」という意識が養われた				

○ 子育てに関する悩みや不安にはどのようなことがありますか。(複数回答有)

- 1 基本的な生活習慣(片付け・挨拶・食事態度・身辺自立など)の形成に関する事【9人】
- 2 自分(幼児)の気持ちをコントロールする力を育てること【10人】
- 3 コミュニケーション(意思や感情を伝える・身近な人との会話を楽しむ)力【6人】
- 4 親子関係【0人】
- 5 友達関係【3人】
- 6 その他【0人】

<4歳児>

1:とてもそう思う 2:そう思う 3:あまりそう思わない 4:全くそう思わない

質問内容		1	2	3	4	
お子さんの様子についてお聞きします。						
げんきな子	1	体を動かして遊ぶことを喜ぶようになった	85.7	14.3	0	0
	2	家庭でも戸外遊びをすることが増えた	57.1	28.6	14.3	0
	3	様々なことに挑戦してみようとする気持ちが育ってきた	85.7	14.3	0	0
	4	明るくのびのびと園生活を過ごしていると思う	85.7	14.3	0	0
	5	食事の時間を楽しみ、嫌いなものも食べてみようとする気持ちが育ってきた	42.9	57.1	0	0
やさしい子	1	自分でいろいろなことをやってみたがるようになった	85.7	14.3	0	0
	2	食事の準備や排泄の始末、片付け等を自分でするようになった	50.0	50.0	0	0
	3	身近な人と挨拶を交わすようになった	57.1	28.6	14.3	0
	4	身近な人や友達に関心をもち、かかわりをもちたがるようになった	57.1	42.9	0	0
かんがえる子	1	自然物に触れて遊ぶことを喜ぶようになった	78.6	21.4	0	0
	2	自然事象等に興味をもってかかわり、感動を伝えようとするようになってきた	64.3	35.7	0	0
	3	絵本を読んでもらうことを喜ぶようになった	78.6	21.4	0	0
	4	相手の話に関心をもって聞こうとするようになってきた	35.7	64.3	0	0
	5	絵を描く、製作する等、自分で考えたことを表現することを喜ぶようになった	85.7	14.3	0	0
保育園の運営に関わることについてお聞きします。						
子育て支援	1	園は子育て相談等に気軽に、且つ専門性をいかして適切に応じていると思う	57.1	42.9	0	0
	2	送迎時等で子育てに関する悩み等を伝えることができたと思う	50.0	50.0	0	0
	3	保育者は家庭への連絡や保護者との意思疎通を丁寧に行っていると思う	50.0	42.9	7.1	0
情報提供	1	園便りやクラス便り、連絡帳等で園の様子をだいたい捉えることができている	50.0	35.7	14.3	0
	2	お便りや行事ごとに出される文書等で保育方針や目的等が伝わっている	64.3	35.7	0	0
保育参加	1	保育参加等を通して様々な子どもたちの様子を知ることは大事であると思う				
	2	PTA 活動を通して「子どもたちのために」という意識が養われた				

○ 子育てに関する悩みや不安にはどのようなことがありますか。(複数回答有)

- 1 基本的な生活習慣(片付け・挨拶・食事態度・身辺自立など)の形成に関する事【4人】
- 2 自分(幼児)の気持ちをコントロールする力を育てること【7人】
- 3 コミュニケーション(意思や感情を伝える・身近な人との会話を楽しむ)力【2人】
- 4 親子関係【1人】
- 5 友達関係【0人】
- 6 その他【1人】…子どもの気持ちに寄り添う余裕がない

<5歳児>

1:とてもそう思う 2:そう思う 3:あまりそう思わない 4:全くそう思わない

質問内容		1	2	3	4	
お子さんの様子についてお聞きします。						
げんきな子	1	全身を使って遊ぶ活動を喜び、体力がついてきた	75.0	25.0	0	0
	2	雲梯や鉄棒、縄跳び等、目標をもって挑戦しようとするようになった	50.0	50.0	0	0
	3	家庭でも戸外遊びをすることが増えた	50.0	25.0	25.0	0
	4	園生活において充実感を味わっていると思う	75.0	25.0	0	0
	5	「食物」や「食事」に対して以前より関心をもつようになった	50.0	50.0	0	0
やさしい子	1	当番活動等の経験を通して、家庭でも様々なことをやってみるようになった	75.0	25.0	0	0
	2	園（集団生活の場）や家庭での約束を守って生活しようという気持ちが育ってきた	75.0	25.0	0	0
	3	自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも感じ取りながらかわろうとするようになった	75.0	25.0	0	0
	4	様々な場面で、すぐに大人を頼らず自分なりに考えてみようとしている	25.0	75.0	0	0
かんがえる子	1	興味関心の広がりと共に、感動したことや不思議に思ったこと等、友達とのやりとりが活発になった	50.0	50.0	0	0
	2	友達や身近な人の話を、関心をもって聞き、自分なりに考えたことを話すようになった	75.0	25.0	0	0
	3	自分でイメージしたものを身近な材料を使って描いたり製作したりすることを喜ぶようになった	75.0	25.0	0	0
	4	生き物や事物をじっくりと見たり、調べたりするようになった	100	0	0	0
保育園の運営に関わることについてお聞きします。						
子育て支援	1	園は子育て相談等に気軽に、且つ専門性をいかして適切に応じていると思う	50.0	50.0	0	0
	2	送迎時等で子育てに関する悩み等を伝えることができたと思う	50.0	50.0	0	0
	3	保育者は家庭への連絡や保護者との意思疎通を丁寧に行っていると思う	50.0	50.0	0	0
情報提供	1	園便りやクラス便り、連絡帳等で園の様子をだいたい捉えることができている	50.0	50.0	0	0
	2	お便りや行事ごとに出される文書等で保育方針や目的等が伝わっている	75.0	25.0	0	0
保育参加	1	保育参加等を通して様々な子どもたちの様子を知ることは大事であると思う	100	0	0	0
	2	PTA 活動を通して「子どもたちのために」という意識が養われた	75.0	25.0	0	0

○ 子育てに関する悩みや不安にはどのようなことがありますか。（複数回答有）

- 1 基本的な生活習慣（片付け・挨拶・食事態度・身辺自立など）の形成に関する事【0人】
- 2 自分（幼児）の気持ちをコントロールする力を育てること【1人】
- 3 コミュニケーション(意思や感情を伝える・身近な人との会話を楽しむ)力【2人】
- 4 親子関係【1人】
- 5 友達関係【0人】
- 6 その他【0人】

本園は、今年度

主題 「遊びと学びの発信」の工夫
ねらい「日々の保育の楽しさや発見を語り合い、学び合うことで
子ども一人一人のよさや可能性を引き出す保育を目指す

として研究に取り組み、保育にあたってまいりました。

園の研究は保育目標の具現化を目指して取り組んでいます。園の保育目標は「げんきな子」「やさしい子」「かんがえる子」です。園の保育計画も保育目標に添って編成しています。このアンケートを保育目標に照らし合わせると、以下の項目が特に高評価でした。

「げんきな子」

0～4 歳児では

体を動かして遊ぶことを喜ぶようになった。

様々なことに挑戦してみようとする気持ちが育ってきた

楽しく園生活を過ごしていると思う

明るくのびのびと園生活を過ごしていると思う

5 歳児では

園生活において充実感を味わっていると思う

全身を使って遊ぶ活動を喜び、体力がついてきた

「やさしい子」

0～4 歳児では

自分の身の回りの簡単なことを真似てやってみたがるようになった

自分でいろいろなことをやってみたがるようになった

自分の思いを表情や指差しで表そうとするようになった

自分の思いを言葉で伝えようとするようになった

5 歳児では

当番活動等の経験を通して家庭でも様々なことをやってみるようになった

園や家庭での約束を守って生活しようという気持ちが育ってきた

自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも感じ取りながらかわろうとするようになった

「かんがえる子」

0～4 歳児では

手指を使った遊びを楽しむようになった

絵本を読んでもらうことを喜ぶようになった

絵を描く、製作する等、自分で考えたことを表現することを喜ぶようになった

5 歳児では

友達や身近な人の話を、関心を持って聞き、自分なりに考えたことを話すようになった

自分でイメージしたものを身近な材料を使って製作することを喜ぶようになった

生き物や事物をじっくりと見たり、調べたりするようになった

それぞれの年齢や発達に沿った様々な経験を積み重ねていくことで、就学前にはこのような姿に育っていくと捉えることができ、とても嬉しい結果でした。

アンケート項目以外にたくさんの貴重なご意見をいただきましたので、お知らせ致します。

○保育について

・日々の保育の場面で、子どもの成長に合わせたかかわり、言葉かけをしてくださり、丁寧に子どもとかわってくださっていることに感謝しています。また、先生方やスタッフの方々も増えて、多くのサポートをしていただけることに感謝しています。しかし、先生方のお顔や名前が覚えられず、申し訳なく感じています。個人情報だとは思いますが、可能な範囲で昨年度あったような自己紹介等があると安心して先生方と関わることができるのではないかと思います。

・いつも安心安全な保育を提供していただき、ありがとうございます。子どもたちも笑顔で楽しそうに過ごしており、送り迎えの時間には親もほっこり笑顔になります。これからもよろしく願いいたします。

・いつもその日の様子を細かく教えていただけるので助かります。安心して預けています。

・いつもありがとうございます。泥んこ遊びの際ですが「泥んこ遊び用の服」を準備するようにしていただきたいです。登園時の服が汚れて返ってくるので汚れが落ちず、大変なので…良い服は着せてないのですが…。検討よろしく願いします。

・コロナで大変な時期ですが楽しく園での生活が送られるようにしてくれている先生方にいつも感謝しています。

・日々の保育、ありがとうございます。とてものびのびと過ごせているようで安心しています。

・コロナで活動が制限される中、たくさん工夫した取り組みをしてくださり、ありがとうございます。子どもは園が大好きです。親も安心して預けられます。本当にありがとうございます。

・コロナで大変なことも多い中、子どもたちのためにご尽力いただき、ありがとうございます。外で遊ぶことはすごく良いことだと思いますが、朝登園するとなかなか先生を見つけられず（いらっしゃっていても一人でたくさんの子どもたちを見ているので）伝えたいことが伝えられないことが何回かありました。休み明けの登園だったりすると子どもが離れてくれないことがあるので、そんな時に先生方から迎えに来ていただけるとありがたいなあと思います。来年度もよろしく願いします。

・休みの日であっても「保育園行きたい！」ということもあるほど保育園が楽しく安心して過ごせる場所になっているのだねと感じます。本当にありがとうございます!!

・おたより帳に、その日の様子を記入してもらえることもありますが、連日、記入がない時があり、本人からは何して遊んだか等、聞きますが、もう少し様子を書いてもらえると嬉しいなと思う時があります。園の方針や業務等の関係もあると思うので、大変だとは思いますが…。

・おかげさまで大きなケガもなく元気に過ごせています。ありがとうございます。絵本の貸し出しですが他のクラスと比べて少しだけ頻度が少なかったかなと感じました。年度初めはバタバタしていたのももちろん難しいと思いますが…。そして、絵本を包む風呂敷もあまり出番がなく、家でももう少し「こうやって包むんだよ」と教えれば良かったなと思いました。細かいこと言ってすみません。本当にいつも明るく楽しく、ダメな時はきちんと叱ってくださり感謝しています。ありがとうございます。

・各教室に鍵がついているのに廊下をフラフラ歩いている子や一人で園庭に出ている子がいるのはどういう方針でそれを放っているのか。もしその間に何かしらケガ等したらどうやって責任を取るのか不安になる。放任主義なのかもしれませんがある程度の制限は必要ではないでしょうか。

・おもらしやおねしょで汚れた衣服を軽くでいいので水洗いするのは難しいことでしょうか。特に夏は持ち帰ったころには臭いが酷くなりシミになってしまったこともあります。煩わしいようですが、気になっていたことを話すチャンスがなかなかないので…申し訳ありませんがよろしく願いします。

・同級生の子たちも入園し、仲間と頑張る、負けたくない、悔しい、一緒に達成することを体験し、成長を感じた一年でした。

○行事について

・昨年に引き続き、子どもが安全に健やかに保育園での生活を送ることが出来たと感じます。コロナが再び流行してきましたが、その都度、適切に対応をしてくださっていて、初めて参加した発表会はすごく感動しました。

・今年度は発表会に参加することができ、嬉しかったです。

・発表会に参加できてとっても嬉しかったです!

・今年度は子どもの発表会を見ることができました。子どもはきっと練習通りとはいかなかったと思いますが、私たちは子どもが保育園で先生やお友だちとこんな感じで過ごしているんだろうなあという雰囲気分かりました。それだけでもとっても嬉しかったし、楽しかったです。子どもからは保育園でこんなふうにご覧したよという会話はまだ上手くはできないけれど、おたより帳や先生方とのお話で楽しく過ごしていたんだろうなあいつも思っています。こんな時期なのに発表会を見に行けて本当に嬉しかったです。先生方には感謝しかありません。毎日ありがとうございます。これからもよろしく願いします。

- ・今年度もコロナで十分な園行事ができなく残念ではありましたが、発表会でたくさんの人の前で発表できる成長した姿を実際に見られ、とても嬉しかったです！
- ・今年度は子どもの行事を実際に見ることが出来て、とても嬉しく、より園での成長を感じられました。コロナで大変な中、ありがとうございました。
- ・実際に参加することが出来なかった運動会もDVDをいただけて嬉しかったです。初めて見れた発表会ではとても成長を感じる事が出来、とても感動しました。コロナ禍ではありましたが、様々な工夫をしてくださってありがとうございます。
- ・普段の時も行事の時も子どもたちと親身に寄り添ってくれている先生方にはとても感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。
- ・コロナ状況、ピークがきたり、落ち着きがあったりと変動もある中、保護者参加のイベント企画をしてくださり、ありがとうございます。
- ・コロナ再流行する等、今年も大変な状況の中、その時その時の最大限の開催状況で行事開催していただき、ありがとうございます。
- ・月末締日の仕事なので、末日に行事があると参加できなくなりそうなので、できたら避けてほしいです。

○その他

- ・他の園で感染症が流行っていると聞いても、みどりの保育園ではそのようなことがないので、先生方が消毒など徹底してくれているのだなと感じています。ありがとうございます。
- ・去年、玄関に先生方の写真と名前が貼ってあって、名前を覚えるのにとっても良かったので、あるといいなあと感じていました。
- ・園日より、クラス日より、とても見やすく園での様子も分かるので楽しみにしています。
- ・お正月の年賀状につきまして、いただいてとても嬉しいものではありませんが、先生方に大変負担をかけることと思います。
- ・今年度、ホールを区切って保育室が準備されていることに驚きました。子どもたちの遊びが適切に確保されているのだろうかかと不安に思いました。
- ・園の建物の大きさに対して園児数が多いのが気になる。かぜ、そらさんがホールの一部を使って過ごしていて狭くないのか不安です。(市からの受け入れ要請があるのは分かるのですが) 親としては広々とした環境で園生活を送ってほしいです。
- ・挨拶を自分からしていただけない先生がたまにいて、少し残念に思います。
- ・運営委員会の議事録もHPで公開されており、読むことができありがたいです。

○このアンケートについて

- ・アンケートの項目から、この1年の子どもの成長を振り返るととても良い機会になりました。毎日の先生方の連絡帳のコメントや送迎時の対応から子どもの成長を共有出来ていて、丁寧に保育してくださっているのが伝わってきます。本当に毎日ありがとうございます。
- ・このようなアンケートを取ることに、園の運営がしっかりされていると感じます。1年前までの我が子を思い返すと色々な面が成長し、ちゃんと話を聞き、考えるようになったと気づきました。
- ・アンケートを通して改めてこの一年を振り返ってみると自分でできるようになったこと、やってみよう！と自分から行動すること等が増えたなあと。成長している姿が実感できました。
- ・子どもの1年を振り返る機会となりました。とても成長したと気づきました。
- ・親として勝手な意見ですが…匿名でアンケート回収箱に入れる形だといいなと思いました。その方が忌憚のない意見をポンポン書きやすいなと感じています。ご検討をよろしくお願いいたします。アンケートの作成、お疲れ様です。ありがとうございます。

貴重なご意見をありがとうございました。

今後も保護者の方々と心をつないで、本園のよさを伸ばし、更に工夫、改善していけるよう、職員一同、努めてまいりたいと思います。

お忙しい中、ご理解ご協力をたいへんありがとうございました。

重点目標 ・よく眠り、よく食べ、よく遊ぶ。

げんきな子

① 身近な環境に興味を示し、体を動かす楽しさを味わう。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
身近な環境に興味を示し、自ら体を動かす楽しさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の散歩や散策では、牛乳パックで作ったお出かけパックを持っていったことで、「入れてみたい」「持って歩きたい」と自分から進んで探索し歩き体を動かす姿が見られた。 ・個々の発達に合わせて、園庭の坂道を保育者と手を繋いだり支えてもらったりしながら繰り返し登り降りする姿が見られた。自分でできた喜びを味わいながら体を動かす楽しさにつながった。 ・保育者と一緒に歌や踊りを繰り返し楽しむことで自然と体が動き出した。室内でも体を動かし楽しさを味わうことにつながった。
身近な環境に興味を示し、体を動かす楽しさを味わう。	
保育者の援助があると身近な環境に興味を示し、体を動かす楽しさを味わう。	

② 様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
様々な食品に少しずつ慣れ、自ら食べることを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で食べてみようとする姿や食べさせてもらいたいと意思表示するなどその日ごとに違う姿も見られた。個々のペースに合わせて、寄り添い、かかわり方を工夫したことで楽しく食べることにつながった。 ・保育者の食べる様子をみて、真似て食べてみようとする姿が見られたので「おいしいね」と声をかけながら保育者と一緒に食べることで自分から食べようとする姿が見られた。 ・好きなものをもっと食べたいと意思表示する姿も見られるようになり食べることを喜ぶ姿が見られた。
様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。	
保育者の援助があると様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。	

やさしい子

① 保育者に言葉やしぐさで思いを伝えようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自ら保育者に言葉やしぐさで思いを伝えようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で伝えられない気持ちを仕草や行動表現しようとする姿を保育者が受け止め代弁を繰り返したことで自ら思いを伝えようと言葉にする姿が見られるようになった。 ・「そうだよね」「～したいのね」など子どもの思いを受け止め温かい声や言葉で話しかけることで受け止めてもらったという安心感をもちかわりが深まった。 ・絵本や手遊びを楽しみ単語が出てくるようになると子ども同士で伝え合い思いを伝える楽しさを味わう姿が見られた。
保育者に言葉やしぐさで思いを伝えようとする。	
保育者の援助があると言葉やしぐさで思いを伝えようとする。	

かんがえる子

① 保育者と一緒に絵本を見ることを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
保育者と一緒に繰り返し絵本を見ることを楽しむ。	・ 0歳児用の絵本のカゴを用意したことで、自分の好きな絵本を選び、じっくり見る姿がみられた。ゆったりとしたスペースと時間を保証することで絵本に親しみ、保育者に「読んで」と持ってき繰り返し絵本を見ることを楽しんでいた。 ・ 写真を取り入れた手作り絵本を見ながら言葉が引き出され会話につながった。
保育者と一緒に絵本を見ることを楽しむ。	
保育者の援助があると絵本を見ることを楽しむ。	

重点目標 ・ 様々な人やもの、こととの出会いを喜び、繰り返しかかわろうとする。

げんきな子

③ 保育者と一緒に走る、跳ぶ、登るなど体を動かすことを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
保育者と一緒に走る、跳ぶ、登るなど繰り返し体を動かすことを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外遊び、ボール遊び、サーキット遊びなど子ども達が安全に体を動かし楽しめるような場と時間を確保したことで子ども達が「やってみたい」「面白そう」と自分から楽しみ、達成感や満足感を味わっている姿が見られた。 ・ 保育者と一緒に簡単なしっぽとりや“まてまて～”と追いかけてこしながら走ることを楽しんでいた。 ・ マットや巧技台を組み合わせて、よじ登る、跳ぶ、滑るなど体を使って遊ぶ環境を工夫したことで十分楽しんだ。
保育者と一緒に走る、跳ぶ、登るなど全身を使う遊びを楽しむ。	
保育者の援助があると、走る、跳ぶ、登るなど体を動かすことを楽しむ。	

① 食べることを楽しみ、自分で食べてみようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
食べることを楽しみ、繰り返し自分で食べてみようとする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい雰囲気の中で食べることで食欲に繋がり、自分からスプーンを使って食べようとする姿が見られるようになった。 ・ 個々の食べる量を把握し調整することで、食べきれぬ喜びにつながっていった。 ・ 苦手な食材が出たとき保育者や友達が「おいしいね」と食べる姿を見て食べてみたらおいしかったと気づく子もいたので、個に合わせた声掛けをしていった。
食べることを楽しみ、自分で食べてみようとする。	
保育者の援助があると食べることを楽しみ、自分で食べてみようとする。	

やさしい子

① 自分の思いを言葉や仕草で伝えようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
繰り返し自分の思いを言葉や仕草で伝えようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者や周囲の子とのかかわりの中で、状況や場面に応じて自発的に思いを伝え、気の合う友だちとやり取りを楽しむ姿が見受けられるようになってきた。子ども主体のかかわりを見守りながら玩具の貸し借りや意思の疎通が難しく感じられる場面では仲立ちとなりお互いの思いを代弁しかかわったことで、自分から伝えようとする姿に繋がった。 ・ 日常使う言葉を十分理解できるように丁寧に伝えることで、使ってみようとする姿が見られるようになった。タイミングを逃さず受け止めることで、繰り返し挨拶を楽しむようになった。
自分の思いを言葉や仕草で伝えようとする。	
保育者の援助があると自分の思いを言葉や仕草で伝えようとする。	

② 保育者と一緒に身の回りの簡単なことを自分でやってみようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
繰り返し保育者と一緒に身の回りの簡単なことを繰り返し自分でしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ交換時ズボンを自分で履こうとしたり、靴下を履いたり、自分でやりたい！という気持ちが芽生えて自らやってみようとする姿が見られた。一人一人に合わせて見守りながら寄り添い援助することで、一人でできた喜びにつながった。友達の姿を見てやってみようとするが思うようにできず泣き出す子もいたが、さりげなく手伝い、やり方が分かることで、できた喜びを味わい、自信につなげていった。 ・自分でできることをもう少し増やすための環境の工夫を保育者間で話し合い整えていけたことが良かった。
保育者と一緒に身の回りの簡単なことを自分でしようとする。	
保育者の援助があると保育者と一緒に身の回りの簡単なことを自分でしようとする。	

かんがえる子

② 保育者に絵本を読んでもらうことを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
絵本を繰り返し保育者に読んでもらうことを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつの後絵本の読み聞かせを繰り返し楽しんだことで、自分から絵本コーナーに行き「これよんで」と読み聞かせを楽しむ姿が見られた。 ・膝に座り一対一で絵本を読む時間を設け一人一人の興味や好みを把握した。触れ合いながら、繰り返し楽しい雰囲気を読み聞かせを行ったことで絵本に親しみをもつようになった。 ・全体に読み聞かせる際は、椅子を置いて環境を整えたことで、じっくり落ち着いて聞き楽しむ姿が見られた
絵本を読んでもらうことを楽しむ。	
保育者の援助があると絵本を読んでもらうことを楽しむ。	

③ 自然物（木の実・落ち葉・雪・氷）に関心を持ち、触れて遊ぼうとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自然物（木の実・落ち葉・雪・氷）に関心を持ち、繰り返し触れて遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩では自分の牛乳パックのカバンに木の実を集めて「いっぱい・いっぱい」と喜び、落ち葉踏みをしながらかさかさおとがするね」と楽しむ姿があった。 ・雪遊びでは小さな雪山を作り、お尻滑り滑りを保育者と一緒に楽しむことで自分から登りやってみようとする姿につながった。 ・雪に触って冷たいという感触やその手をほほにつけて、手の冷たさやほほの温かさを感じ、季節の変化を保育士と一緒に味わい楽しんだ。
自然物（木の実・落ち葉・雪・氷）に関心を持ち、触れて遊ぶ。	
保育者の援助があると（木の実・落ち葉・雪・氷）に関心を持ち、触れて遊ぼうとする。	

重点目標 ・保育者とのかかわりの中で自分の思いを表わす喜びを味わう。

げんきな子

④ 戸外で遊ぶことを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
戸外で繰り返し遊ぶことを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の斜面を一人で登り、降りを繰り返し楽しむ姿がみられた。バランスをとることができるようになると河川敷の急斜面の土手のぼりに挑戦する姿も見られるようになった。友達の姿を見て保育者と一緒に登ってみようと戸外で遊ぶことを楽しむことにつながった。 ・雪遊びでは、お尻滑りや見立てごっこ遊びなど環境を用意したことで自分から防寒着を着て準備をする姿が見られ、戸外で遊ぶことを楽しみにする姿が見られた。
戸外で遊ぶことを楽しむ。	
保育者の援助があると戸外で遊ぶことを楽しむ。	

⑤ 食べることを楽しみ、食べるようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
食べることを楽しみ、自ら食べようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士や保育者と連携し、個に合わせて食事の環境や食事の量など話し合い、決めたことで、自分から席につき食事を楽しみにする姿が見られるようになった。食べる量も増え、一人で食べる喜びにつながった。 ・体を動かし遊んだ後は、「おなかすいた～」という声が聞こえてくるようになった。「今日のごはんなんだろうね」と給食を楽しみにする姿が見られるようになった。
食べることを楽しみ、食べようとする。	
保育者の援助があると食べることを楽しみ、食べるようとする。	

やさしい子

② 保育者と言葉のやり取りを楽しむ

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
保育者と言葉のやり取りを繰り返し楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・やってほしい事や経験した事を言葉で伝えようとする姿が見られるようになった。保育者は思いに寄り添いながらやり取りを楽しみながら言葉を引き出していくようにした。 ・周りの子と一緒に過ごす中で「1番になりたかった」「○○ちゃんと一緒にいい」等、思いを言葉にすることが増えてきた。保育者が子どもの思いに共感しながら相手の思いを言葉にして知らせていくうちに少しずつ相手の思いを聞こうとする姿につながってきた ・大好きな絵本の繰り返しの言葉を遊びの中に取り入れ、室内や戸外で劇ごっこ遊びに繋げていった。発表会にむけてなりたい役になりきって言葉のやり取りを楽しんだ。
保育者と言葉のやり取りを楽しむ。	
保育者の援助があると言葉のやり取りを楽しむ。	

③ 身の回りの簡単なことをやろうとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
身の回りの簡単なことを自らやろうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の持ち物や衣服が分かり、自分から準備や着替えをしようとする姿が見られるようになった。出来ない時はさりげなく援助することで「自分でできた」喜びにつながっていった。 ・防寒着の着脱では「できない」「やってちょうだい」と頼る姿が見られたがやり方を知らせたり、励ましたりすることで着脱をやってみようとする姿につながった。 ・友達の姿を見て、ズボンを脱いでトイレに座って排泄する姿が見られるようになった。自分からやろうとする姿を認め、褒め自信に繋げていった。
身の回りの簡単なことをやろうとする。	
保育者の援助があると身の回りの簡単なことをやろうとする。	

かんがえる子

④ 様々な素材に触れて楽しむ。(砂、土、紙、粘土、雪、氷等)

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
様々な素材に触れ繰り返し楽しむ。(砂、土、紙、粘土、雪、氷等)。	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土を使って、丸める、伸ばす、ちぎる等手先を使って繰り返し遊びを楽しんだ。 ・べたべた、ぬるぬるが苦手な子に対して無理をさせないで見守ってきた。遊び方を知らせ、保育者が一緒に楽しむ姿を見せることでやってみたくなる環境を作っていた。 ・友達と同じものを使って遊びたい子ども達の思いを大切に道具は多めに用意し、ごっこ遊びや見立て遊びに繋げていった。雪遊びでは、雪に食紅で色をつけて、アイスクリームやケーキに見立て楽しみ、繰り返し遊ぶ姿に繋がった。
様々な素材に触れて楽しむ。(砂、土、紙、粘土、雪、氷等)	
保育者の援助があると様々な素材に触れて楽しむ。(砂、土、紙、粘土、雪、氷等)	

⑤ 音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを繰り返し楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす事が好きな子ども達は、音楽をかけると自然と体が動き出す姿が見られた。「もう一回」と繰り返し楽しんだ。 ・季節に合わせた歌や踊りをクラスで歌う機会が少なかったので計画立てしながら子ども達と一緒に楽しんでいく。 ・リズム運動では、友達や保育者の姿を見ることで自分から動き出したいようになるようにタイミングを見て誘ったり、待ったりした。保育者の楽しそうな姿を見ながらやってみようとして動き出す子どもいた。
音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。	
保育者の援助があれば音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。	

重点目標 ・自分の好きな遊びを見つけて繰り返し楽しむ。

げんきな子

戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
戸外で繰り返し体を動かして遊ぶことを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールある鬼ごっこや転がしドッチボールなど保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいた。 ・はじめ体を動かして遊ぶことを傍観していた子も保育者や友達が楽しそうに遊んでいる姿を見て体を動かし遊ぶようになった。 ・雲梯や鉄棒など年長の姿を見て真似てみようと思える子が増えてきた。保育者が励まし見守る中で、一人でやってみようと繰り返し姿に繋がった。 ・雪山に登ったり下りたり、転がったり、そりで滑ったり、寒い日も思いっきり体を動かし楽しむ姿が見られ、進んで戸外遊びを楽しんでいた。
戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。	
保育者の援助があると戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。	

⑥ 簡単な食事のマナーを知り、保育者や友達と食べることを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
簡単な食事のマナーを知り、自ら保育者や友達と食べることを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子の座り方やフォークの持ち方をクラスで確認し、保育者が「背中が伸びているね」「こぼさないで食べられたね」など気づいたことを言葉にして伝えていくと一人一人が食事のマナーに気をつけ、食べることを楽しんでいた。 ・フォークの持ち方では個人差も見られたので、注意をするのではなく、できたとき褒めることで自分から気を付け直す姿に変わっていった。 ・食事の準備を自分たちで進めるようになり、次はどうすれば良いのか見通しをもつことで安心してテーブルにつき、保育者や友達と食べることを楽しんでいた。
簡単な食事のマナーを知り、保育者や友達と楽しく食べることを楽しむ。	
簡単な食事のマナーを知り、保育者や友達と一緒に食べることを楽しむ。	

やさしい子

①身近な人と挨拶を交わす心地よさを味わう。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
身近な人と挨拶を交わす心地よさを繰り返し味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式で園長先生の話聞いて、目を見て挨拶する姿も見られ、挨拶を交わす心地よさを味わう姿が見られるようになった。 ・登園時や降園時、保育者から率先して挨拶をすることで、保護者から促されて挨拶していた子も自分から進んで挨拶をするようになってきた。 ・絵本貸出しでは、職員室に入室してくる時もしっかり挨拶をして自信をもって話す姿が見られる。
身近な人と挨拶を交わす心地よさを味わう。	
保育者の援助があると身近な人と挨拶を交わす心地よさを味わう。	

②食事の準備や排泄の始末、片づけ等自分でやってみようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
進んで食事の準備や排泄の始末、片づけ等自分でやってみようとする。	・1日の流れを伝えることで次の活動を楽しみに見通しをもち、自分から身の回りの事をしようとする姿が見られた。
食事の準備や排泄の始末、片づけ等自分でやってみようとする。	・おしぼりの準備や食器の片づけなど、年長の姿にあこがれをもち自分からやってみようとする姿が見られた。
保育者の援助があると食事の準備や排泄の始末、片づけ等自分でやってみようとする。	・道具箱や衣服の片づけでは、一人一人の実態を見極めて自分でやってみようとする声かけを行い意欲がもてるようにした。 ・排せつの始末は、個々の発達に合わせて保育者が援助しながら自分でできた喜びにつなげていった。

かんがえる子

① 身近な自然に興味をもちかかわることを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
身近な自然に興味をもち繰り返しかかわることを楽しむ。	・散歩に出かけ秋の実を拾ったり、落ち葉を集めたりして楽しんだ。集めた秋の実を使ってままごと遊びや製作をするなど、身近な自然に関わり楽しむ姿が見られた。
身近な自然に興味をもちかかわることを楽しむ。	・子ども達が「氷がキラキラしていた」「雪がさらさら」などの気付きを保育者や友達に知らせる姿が見られた。保育者は新しい発見や不思議に思う姿に共感し、一緒に自然現象に興味をもってかかわり遊びに取り入れていくことで子ども達は雪遊びを繰り返し楽しんでいった。
保育者の援助があると身近な自然に興味をもちかかわることを楽しむ。	

② 絵本やお話に親しみ役になりきって動くことを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自ら絵本やお話に親しみ役になりきって動くことを楽しむ。	・簡単なやり取りや繰り返しのあり子どもの興味ある絵本を選んで読み聞かせを繰り返し楽しむ中で、自分から役になりきり楽しむ姿が見られた。
絵本やお話に親しみ役になりきって動くことを楽しむ。	・舞台ではドキドキして役になりきって動けなくなる子もいたが、友達の姿を見て、保育者と一緒に役になりきって楽しむことで自分から動きを楽しむ姿が変わっていった。
保育者の援助があると絵本やお話に親しみ役になりきって動くことを楽しむ。	・劇ごっこを楽しみ発表した後も、小道具やお面を使って友達と一緒にごっこ遊びや紙芝居を作って楽しむ姿が見られた。

重点目標 ・自己表出しながら好きな遊びを楽しむ。

げんきな子

⑦ 戸外で体を動かして遊ぼうとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
戸外で繰り返し体を動かして遊ぼうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の余韻を楽しめるように園庭にリレーラインをひいておくと朝登園すると友達を誘ってかけっこを楽しむ姿が見られた。年長のリレーを真似てリレーごっこも楽しんでいた。 ・園外保育では開放的な空間を走り回ったり、石垣を登ったり、下ったりしながら、何度も繰り返し楽しむ姿が見られた。 ・色鬼や引越し鬼など保育者も一緒に楽しんだことで、自ら戸外に出て体を動かし遊ぶ姿につながった。 ・雪遊びでは、そり遊びを楽しみ、登っては滑り、繰り返し体を使って楽しんでいた。
戸外で体を動かして遊ぼうとする。	
保育者の援助があると戸外で体を動かして遊ぼうとする。	

⑧ 園内の遊具に興味をもち遊ぶことを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
園内の遊具に興味をもち繰り返し遊ぶこと楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで雲梯や鉄棒に取り組む時間を設けてきたことで、友達の頑張る姿を見たり、悔しがる姿を見たりして刺激を受け、自分もやってみようとする姿や挑戦する姿につながってきた。 ・年長が運動会で挑戦した1本橋上りにあこがれを持った子どもたちは、サーキットを組み立てる時「年長さんみたいに高くしよう」「梯子を付けて登れるようにつなげてみたい」など自分たちで考えながら組み立て繰り返し遊ぶことを楽しんでいた。
園内の遊具に興味をもち遊ぶことを楽しむ。	
保育者の援助があると園内の遊具に興味をもち遊ぶことを楽しむ。	

⑨ 保育者や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味関心をもつ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
保育者や友達と食べることを繰り返し楽しみ、食べ物への興味関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・畑やプランターで育てられた野菜を収穫する経験をしたことで食べ物への関心を持つきっかけになった。 ・食べられる量を子どもと相談しながら調整してきたことで食べきれぬ喜びを味わい、お代わりを楽しむ姿につながった。 ・給食室からおいがしてくると3色栄養ボードを見に行き友達とメニューを見て食事を楽しみにする姿が見られた。 ・焼き芋会など行事の時、戸外でシートを敷いて食べるといつも小食だった子がお代わりをするなど、食べることを楽しむようになった。
保育者や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味関心をもつ。	
保育者の援助があると友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味関心をもつ。	

やさしい子

① 友達と一緒に活動することを楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
友達と一緒に活動することを繰り返し楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・さつま芋の収穫時、つるを引っ張るが抜けないと「僕手伝うよ」「一緒に引っ張ってちょうだい」と声を掛け合い協力する姿が見られた。共通の目的をもち工夫したり協力したりしながら楽しむことにつながった。 ・発表会にむけた劇ごっこでは「僕この役やりたい」「私はこの役」と自己発揮する姿が見られた。一人一人の子どもが自己発揮しながら友達と多様なかわりがもてるように援助してきたことで「一緒にやろうか」と折り合いをつけ楽しむ姿が見られた。
友達と一緒に活動することを楽しむ。	
保育者の援助があると友達と一緒に活動することを楽しむ。	

② よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動しようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
よいことや悪いことがあることに気づき、自ら考えながら行動しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の名前をふざけて呼ぶ姿が見られた。周りの子が「へんだよ」と話し始めたので、子ども達の話の聞きながら、その行動の何が悪かったのかを考えられるように働きかけると、悲しい気持ち、嫌な気持ち、いろんな思いをすることに気づき、ふざけ過ぎると相手に不快な思いをさせることに気づいた。
よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動しようとする。	
保育者の援助があるとよいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動しようとする。	

かんがえる子

① 感じたことや考えたことを表現する楽しさを味わう。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
感じたことや考えたことを繰り返し表現する楽しさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・広告紙を折り紙の大きさにカットして棚に置いておくと、はじめ興味を示さなかった子も保育者と一緒に飛行機を折って飛ばすと、もっと「かっこいい飛行機を作ろう」と紙の大きさや素材、折り方などを工夫し、友達と競って飛ばすことを楽しさを味わう姿につながった。 ・廃材を使って自分の作りたいものをイメージするが、思うように作れずにいる子には、保育者が思いを受け止めながら一緒に表現する喜びを味わえるように援助してきた。「ここをくっつけてほしいの、手伝って」と伝えてくるようになり、イメージしたものを形にしていく楽しさを味わっていた。
感じたことや考えたことを表現する楽しさを味わう。	
保育者の援助があると感じたことや考えたことを表現する楽しさを味わう。	

② 身近な自然物（草花や木の実など）を集めたり並べたりして楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
身近な自然物（草花や木の実など）を繰り返し集めたり並べたりして楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育で拾ったドングリを子どもたちが並べ楽しんでた。保育者が一緒に並べながら「大きいのと小さいのがあるね」と形や色の違いを知らせると子どもたちが並べ直し、形の違いからドングリにはいろんな種類があることに気付く姿が見られた。 ・姫リンゴが赤くなって熟した実が落ちてくると、拾い集め、ケーキを作ったり、つぶしてジュースにするなど工夫して楽しんでた。
身近な自然物（草花や木の実など）を集めたり並べたりして楽しむ。	
保育者の援助があると、身近な自然物（草花や木の実など）を集めたり並べたりして楽しむ。	

③ 様々な絵本や物語に親しみ、イメージを膨らませて動く楽しさを味わう。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自ら様々な絵本や物語に親しみ、イメージを膨らませて動く楽しさを繰り返し味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な絵本や物語に親しみ繰り返し読み聞かせを行うと、自分たちで小道具を作り、役になりきって動く姿が見られた。お面を一緒に作りイメージを膨らませ表現する楽しさを味わい発表会につなげていった。 ・発表会後も部屋に大道具、小道具を置いておくと、友達を誘いイメージを膨らませて動く楽しさを味わっていた。
様々な絵本や物語に親しみ、イメージを膨らませて動く楽しさを味わう。	
保育者の援助があると様々な絵本や物語に親しみ、イメージを膨らませて動く楽しさを味わう。	

重点目標 ・友達と共感し合いながら園生活を進め、充実感を味わう。

げんきな子

⑩ 戸外で友達と十分に体を動かして遊ぶ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自ら戸外で友達と十分に体を動かして遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・春から楽しんできたドッチボールは、自分たちで仲間を集めゲームを進める姿が見られるようになった。「もう一回やろう」と繰り返し体を動かして遊ぶ姿につながった。 ・スコップで雪を集めてかまくらづくりが始まった。全身を使って汗をかきながら穴掘りを楽しむ姿が見られた。 ・そり遊びでは友達と一緒に滑り方を工夫して体を動かして遊び楽しんでいた。 ・寒さに弱く戸外に出ようとしないう子には、体を動かして遊ぶと体が暖かくなることを伝え、一緒にそり遊びに誘い楽しさを知らせていった。
戸外で友達と十分に体を動かして遊ぶ。	
保育者の援助があると戸外で友達と十分に体を動かして遊ぶ。	

⑪ 自分なりの目標をもち、あきらめずに挑戦する。（縄跳び、こままわし等）

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自分なりの目標をもち、あきらめず繰り返し挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> ・長縄跳びをクラスで楽しんだ。どれだけ長く跳ぶことができるかそれぞれ挑戦している姿が見られた。なかなか跳べない子があきらめそうになった時、一人一人の跳び方を見せながら、頑張る姿を言葉にして周りの子に伝えると、自分で考えてやってみようとする姿が見られるようになった。 ・コマ遊びが始まると一人で回したいと繰り返し挑戦する姿が見られた。保育者も一緒に楽しみながら、紐の巻き方を伝えた。自分たちで投げ方を調整してみたり、友達にコツを聞いたり、教え合う癖が見られた。
自分なりの目標をもち、あきらめず挑戦する。	
保育者の援助があると自分なりの目標をもちあきらめず挑戦しようとする。	

⑫ 「食物」や「食事」の大切さに気づき、健康な生活をしようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
「食物」や「食事」の大切さに気づき、自ら進んで健康な生活をしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・お米ができるまでの絵本を読み、稲刈りを行った。太陽の光や水、収穫してから米になるまでにいろいろな過程があることを知った。自分たちで脱穀してみると昔の人の大変さを感じ自分達で炊いたご飯に喜び、一粒一粒大切にいただく姿が見られるようになった。 ・自分で配膳することで、食材に関心を示すようになった。苦手な食べ物も自分から食べてみようとする姿につながった。
「食物」や「食事」の大切さに気づき、健康な生活をしようとする。	
保育士の援助があると「食物」や「食事」の大切さに気づき、健康な生活をしようとする。	

やさしい子

①生活に見通しをもち行動しようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自ら生活に見通しをもち行動しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会で子どもが主体となり考えていけるよう話し合いを持つ機会を設定した。「最後まで諦めない」「面白くするには？」どうすればいいか考え話し合う姿につながった。 ・話し合うことで、友達の話をよく聞き、自分の考えを伝え「そうだね」「そうしてみよう」と認め合う姿が見られた。 ・昼寝前、素話を聞く時間を作った。はじめ最後まで聞くことができなかった子も、じっくり話を聞き内容を理解し始めると最後まで聞き「今日は何の話？」と楽しみにするようになった。昔話に出てくる方言に「どういう意味なの？」「面白い言葉だね」と伝え合う姿が見られた。
生活に見通しをもち行動しようとする。	
保育者の援助があると生活に見通しをもち行動しようとする。	

②自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも感じとりながら行動しようとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも感じとりながら繰り返し行動しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・コマがなかなか上手に回せなくて悔し涙を流していた子の思いを受け止め、みんなで考える場や時間を作っていった。「昨日までまわせたのに今日は回らない」と自分の気持ちを話すと「ぼくもそうだった」「でも、あきらめなかったらまわせたよ」「どんな回し方をしているか見せて」など子どもたちで話し合い、コツを身振りで教え合い、一緒にコマが回せるまで寄り添う姿があった。回せたときは自分のことのようにみんなで喜び、「教えてくれてありがとう」と自然と言葉がでていた。
自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも感じとりながら行動しようとする。	
保育士の援助で自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも感じとりながら行動しようとする。	

③当番の仕事を友達と考えながら進めていこうとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
当番の仕事を友達と考えながら繰り返し進めていこうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の中で、ザリガニの世話を自分たちでいつ行うか考えてみようと言声をかけた。「今日僕早く帰るから、遊ぶ前にやろう」「みんなと遊びたいからおやつ食べた後はどうかな？」など友達と相談しながら取り組む姿が見られた。 ・当番がお休みの時、「一人で大変そうだね」とつぶやき様子を見て「手伝おうか？」と声をかける姿が見られはじめた。お休みの時はどうするかと話し合うきっかけとなり、交代しながら当番を進めるなど工夫する姿が見られた。
当番の仕事を友達と考えながら進めていこうとする。	
保育士の援助があると当番の仕事を友達と考えながら進めていこうとする。	

かんがえる子

① 人の話をよく聞き、自分の思いや考えも話し、伝え合う喜びを味わう。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
人の話をよく聞き、自分の思いや考えも話し、伝え合う喜びを繰り返し味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会やお別れ会等、子どもが主体となり考え作り上げていけるよう話し合いをもつ機会を設定した。「面白くするには?」「ありがとうの気持ちを伝えるには」など子どもたちが考えやすいように投げかけたことで、「どうすればいいか」考え話し合う姿につながった。 ・話し合うことで、友達の話をよく聞き、自分の考えを伝え「そうだね」「そうしてみよう」と認められたことで伝え合うことを喜び繰り返し味わっていた。
人の話をよく聞き、自分の思いや考えも話し、伝え合う喜びを味わう。	
保育者の援助があると人の話をよく聞き、自分の思いや考えも話し、伝え合う喜び味わう。	

② 身近な自然にかかわり、発見を楽しんだり考えたりして、工夫して遊びを楽しもうとする。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
身近な自然に自らかかわり、発見を楽しんだり考えたりして、工夫して繰り返し遊びを楽しもうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊び時、前日に雪どけした水がバケツの中で凍っていたのを発見した。「昨日とっても寒かったからかな?」「氷がきらきらしている」「きれいだね」など発見したことを楽しんでいた。 ・絵具を使って様々楽しんだ後、偶然できた色水を凍らせてみようとして遊び出す姿が見られたので、いろいろな容器を準備して水の量を調整しながら工夫して遊び楽しんでいた。次の日凍っているかワクワクしながら登園してくる様子があった。
身近な自然にかかわり、発見を楽しんだり考えたりして、工夫して遊びを楽しもうとする。	
保育者の援助で身近な自然にかかわり、発見を楽しんだり考えたりして遊びを楽しもうとする。	

③ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。

評価指標	子どもの姿から環境や援助を振り返り記入
感じたことや考えたことを自分なりに繰り返し表現して楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児健診を経験して小学校を意識し始めた子どもたちと、あと少しで卒園することを伝え、園での思い出を話し「思い出カルタ」を製作した。春、夏、秋、冬を表にして、思い出を振り分けわかりやすく提示すると「〇〇もあったね」「△△は春だったよね」などと考えながらカルタの絵札を作り楽しんだ。 ・絵本の読み聞かせの中から「このお話面白い」と子どもたちが感じ、ストーリーを友達同士で繰り返し楽しんだ。「みんなで劇ができそうだ」とのつぶやきから劇ごっこが始まった。この話の面白いところはどこか? どんなふうに表現したら笑わせることができるか。と何度も話し合いの場面を作っていた。劇に必要な道具を自分たちで作り、準備から片付けまで話し合っ取り組んできた。発表会では気持ちを一つにして取り組み、一人一人が思い思いの表現をし「楽しかった」と実感できた。
感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	
保育者の援助があると感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	

(1) 令和3年度事業報告

事業名	開催月日	事業内容
みどりの会総会	4月 9日 (金)	新型コロナ感染拡大防止の観点から、資料配布のみ
第1回役員会	4月15日 (木)	新型コロナ感染拡大防止の観点から、開催の可否や開催方法について協議を行った。
夕涼み会	7月21日 (水)	保護者参加は見合わせ、園児と職員のみで『夏祭り』として開催。 浴衣などでの登園をお願いし、事業費予算を持ち帰れる景品に充てることで、保護者にも「子どもたちが夏祭りの雰囲気を楽しんでいた」ことが伝わるよう配慮した。
運動会	9月30日 (木)	応援はそら組保護者・各家庭2名までの参加とし、時短での開催とした。園児は全クラスが参加。
焼き芋会	10月14日 (木)	参加はそら組保護者とみどりの会役員のみとし、焚火の準備、焼き芋の下拵えに参加した。 焼けるのを待つ間は、園庭での鬼ごっこやままごとなど3歳以上児の保育に参加し、その後園庭で焼き芋と給食も園児と一緒に食べた。
親子遠足	11月 6日 (土)	新型コロナ感染拡大を受け、開催予定日を延期した上、そら組のみ『乗り物遠足』として開催。釜石線乗車時には花巻駅員様のご厚意により記念品（わんこきょうだいウェットティッシュ）をいただき、発車時には保護者も駅ホームまで入り見送ることができた。 その後、童話村で保護者と合流し、スタンプラリーを行い、保護者間の親睦も深めることができた。
卒園・進級祝い	3月24日 (金)	花鉢を花巻農業高校より購入。 3/25 卒園式の際に園門～玄関、ステージに設置し式の飾り付けにも活用。
誕生祝い	誕生日当日 (もしくは前後日)	事業費「誕生日祝品」を計画通り購入。 各クラスで行われた「お誕生日会」で、保育者から園児へのプレゼントも滞りなく実施。保護者の方々のコメントが感動的であった。
監査 第2回役員会	3月29日 (火)	

事業名	開催月日	事業内容
にこにこ先生		<p>保護者有志により絵本読み聞かせを実施。</p> <p>11月25日(木) おひさま1組 橋浦(父) 12月7日(火) おひさま1組 伊藤(母) 12月15日(水) あおば組 佐藤(母) 12月22日(水) そら組 平賀(母)</p> <p>子どもたちはもちろん大喜びであったが、読み聞かせをしてくださった保護者の方々も職員と共にクラスの様子や子どもたちの育ちを共感し合う機会となった。</p>

以下については新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開催中止とした。

事業名	開催予定月日	備考
園庭整備 おやじいの会親睦会	6月 12日(土)	中止
カレーパーティ	8月 26日(木)	保護者参加を中止し、園行事として開催
親子遠足	10月 22日(金)	0～4歳児の開催を中止 園行事として『歩き遠足』を実施
クリスマス会	12月 24日(木)	保護者・地域の方の参加(出し物)を中止

令和3年度 みどりの会費収支決算書

<収入の部>

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	630,000	658,500	28,500	500×12か月×(園児78人+職員27人)=630,000 途中入退園(園児3人、職員7人分)=28,500
繰越金	17,360	17,360	0	
雑収入	0	1	1	預金利息
合計	647,360	675,861	28,501	

<支出の部>

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費	459,000	513,036	54,036	誕生日祝、夏祭り、運動会、クリスマス会、卒園進級祝花、行事DVD作成
補助費	130,000	103,077	△26,923	みずき団子作り、節分集会 パズル、すごろく、かるた、ブロック、紙芝居
事務費	10,000	6,526	△3,474	役員会お茶類・茶菓代、コピー用紙
積立金	30,000	30,000	0	周年行事積立金
予備費	18,360	5,000	△13,360	退職者花束2,500×2人
合計	647,360	657,639	10,279	

<差引残高>

収入 支出 差引残高
675,861 - 657,639 = 18,222

残高 18,222 円は次年度に繰り越します。

みどりの会会計 佐藤 啓治



会計 阿部 敬子



令和4年3月29日

令和3年度みどりの会費収支決算書について関係諸帳簿及び領収書について
対照監査したところ正確且つ適正であることを認めます。

監査 田毛 祐成



監査 小野 佑太



(3) 令和4年度事業計画（案）

事業名	開催予定月日	事業内容
みどりの会総会	資料配布のみ 4月11日（月） 配布予定	令和3年度事業報告、会計監査報告 令和4年度事業計画案、予算案 審議・役員選出
第1回役員会	4月27日（水）	一年間の流れの確認
園庭整備 おやじいの会	6月18日（土）	園庭整備作業 親睦会（バーベキュー）
夕涼み会	7月23日（土）	ゲーム出店準備、花火
カレーパーティ	9月7日（水）	※ 有志参加 食材準備、調理、会食
運動会	10月1日（土）	準備等お手伝い、賞品
親子遠足	5月27日（金） 10月15日（土）	3・4・5歳児 0・1・2歳児 詳細未定
焼き芋会	10月26日（水）	※ 有志参加 食材準備、調理、会食
クリスマス会	12月23日（金）	職員・保護者・地域の方による出し物（要相談）、プレゼント
卒園・進級祝い	3月24日（金） 25日（土）	お祝い品（花鉢）
誕生祝い	誕生日当日 （もしくは前後開園日）	お祝い品（お誕生日絵本）
監査 役員会	4月 日（ ）	会計監査、事業報告

・にこにこ先生（絵本読み聞かせ等）

… 日程・内容未定。5歳児最終保育参観 令和5年3月8日（水）

・園行事

… 別紙（年間行事カレンダー）参照

※1 会長による招集により役員会は適宜開催

※2 新型コロナをはじめ各種感染症や災害などによる行事の日程及び内容の変更や中止も有り得る

(4) 令和4年度予算(案)

<収入の部>

(単位:円)

項目	予算額	決算額	内容
会費	714,000		@500円×(園児85名+職員34名)×12ヶ月
繰越金	18,222		前年度(令和3年度)繰越金
雑収	0		預金利子
計	732,222	0	

<支出の部>

(単位:円)

項目	予算額	決算額	内容			
事業費	557,800		おやじいの会親睦会 大人45名×1,000円 45,000円			
			夕涼み会 500円×(大人204名+園児85名) 144,500円			
			運動会 賞品@200円×85名+記念品@400円×85名 51,000円			
			クリスマス会 プレゼント代@400円×119名 47,600円			
			卒園・進級祝い お祝い品@400円×85名 34,000円			
			誕生祝い お誕生日絵本@420円×85名 35,700円			
			行事DVD作成補助 100,000円			
			記念誌制作補助 100,000円			
			補助費	130,000		園行事補助 80,000円 教材購入補助 50,000円
			事務費	10,000		
積立金	30,000		周年行事積立			
予備費	4,422					
計	732,222	0				

(5) 令和4年度役員(案)

役職	氏名	組	園児名
会 長	佐々木 哲 弥	そら (5歳児)	
		にじ (2歳児)	
副 会 長	佐 藤 啓 治	そら (5歳児)	
副 会 長	橋 浦 一 未	かぜ (4歳児)	
副 会 長	前屋舗 哲 也	かぜ (4歳児)	
会 計	田 毛 祐 成	かぜ (4歳児)	
会 計 (職員)	阿 部 敬 子	副主任保育士	
事務局長 (職員)	高 木 崇	事務長	
事 務 局 (職員)	小 野 洋 子	主任保育士	
監 査	小野寺 佑 太	おひさま2 (3歳児)	
監 査	吉 田 康 二	おひさま2 (3歳児)	
顧 問 (職員)	高 木 宏 子	園長	